MITTE CHIYODA

東京・千代田区
総合観光ガイドブック

千代田区の6つの魅力に会いに行こう

秋葉原



皇居



神田
神保町
お茶の水



丸の内
大手町
日比谷



飯田橋
九段



麹町
番町
永田町



千代田区観光協会
CHIYODA CITY TOURISM

千代田区総合観光ガイドブック MITTE　目次

MITTE（ミッテ）とはドイツ語で「真ん中」を意味する言葉です。日本・東京の中心に位置し、江戸時代から常に政治・経済の中心でもあった千代田区の総合観光ガイドブックにふさわしい愛称として名付けました。江戸城＝皇居を中心に広がる個性豊かな街を６エリアに分けてご紹介します。

江戸・明治の知識人が闊歩した文教地区
飯田橋・九段 エリア　32~


千鳥ヶ淵


東京大神宮

日本の中枢機関を巡り、伝統文化に触れる
麹町・番町・永田町 エリア　24~


国会議事堂


ホテルニューオータニ 日本庭園

旧江戸城の史跡が残る、自然豊かな公園
皇居 エリア　10~


二重橋


日本武道館



世界有数の電気街＆ポップカルチャーの聖地
秋葉原 エリア　50~


神田明神


秋葉原

古書店街散策と日本の伝統文化を味わう
神田・神保町・お茶の水 エリア　40~


古書店街


お茶の水

東京の玄関口は、映画・劇場文化の発信地
丸の内・大手町・日比谷 エリア　16~


東京駅


日比谷

写真で魅せる千代田区
春 …… 4〜5
夏 …… 6〜7
秋・冬 …… 8〜9

エリア別紹介
皇居エリア …… 10〜15
丸の内・大手町・日比谷エリア …… 16〜23
麹町・番町・永田町エリア …… 24〜31
飯田橋・九段エリア …… 32〜39
神田・神保町・お茶の水エリア …… 40〜49
秋葉原エリア …… 50〜55

テーマ別特集
アート・ミュージアム …… 56〜57
歴史的建造物・神社 …… 58〜59
東京駅の見どころ …… 60〜61
夜景スポット …… 62〜63
ナイトスポット …… 64〜65
祭り・イベントカレンダー …… 66〜69
アクセスマップ・地下鉄路線図 …… 70〜71

都営線
三田線　新宿線

JR

東京メトロ線
銀座線　千代田線
丸ノ内線　有楽町線
日比谷線　半蔵門線
東西線　南北線

～コミュニティサイクル～

千代田区内の観光に便利なレンタサイクル。電動アシスト付き自転車なので、坂道も楽々。好きなポートで借りて返せます。要登録・有料。



コミュニティサイクルコールセンター
0120-116-819

ちよくる

※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。
※千代田区内は路上喫煙禁止です。違反した場合は2,000円の過料処分が適用されます。



千代田の春

春の訪れを告げる、桜。
花びら舞う、数多くのスポットで桜を楽しむことができます。



皇居東御苑 ➡P.12

苑内にはさまざまな草木や花が植えられ、
四季折々楽しめます。

法務省旧本館 ➡P.28

官庁街に彩りを添える建物前の桜並木。



千鳥ヶ淵の桜 ➡P.39

北の丸公園に面した千鳥ヶ淵は、有名な桜の名所。
多くの人が訪れ、ボートからも桜を楽しめます。



千鳥ヶ淵のライトアップ

「千代田のさくらまつり」の際にはライトアップされ、幻想的な景観に。



神田明神 ➡P.54

5月には江戸三大祭のひとつ、神田明神の例大祭が行われます（本祭りは、隔年開催予定）。



二重橋 ➡ P.13

新緑に包まれる皇居。外苑の広い芝生も美しさを増していきます。



東京駅前・水景エリア ➡ P.20

JR 東京駅丸の内駅前広場に薄く水が張られ、
中を歩いたり遊んだりできます
(7 月下旬～9 月中旬予定)。



納涼の夕べ

千鳥ヶ淵の夏の風物詩。
ボートの上から灯ろうを浮かべるイベント。

みたままつり ➡ P.68

毎年７月中旬に行われる、靖國神社の夏の奉納行事。
参道が３万もの提灯の光に包まれます。

千代田の夏

陽光にきらめく、新緑。
都心とは思えない
自然豊かな文化都市。



**日比谷公園
丸の内音頭大盆踊り大会** ➡ P.68

日比谷公園で行われる都内最大級の盆踊り大会。



和田倉噴水公園 ➡ P.13

皇居外苑の公園では、大噴水や落水・流水施設を
楽しめます。



千代田の秋・冬

街を錦に彩る、紅葉。
そして冬空のもと、
光の世界が出現します。





国会議事堂とイチョウ
➡ P.26
イチョウ並木が美しく色づくと、
議事堂とのコントラストが見事。

行幸通りのイチョウ並木
東京駅丸の内側から
皇居へ伸びる行幸通りは、
秋はまるで黄色いじゅうたんのよう。



日比谷公園の紅葉
➡ P.18
ビル街のオアシスでは、
四季折々の花々や紅葉を楽しめます。



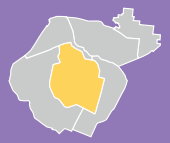
北の丸公園の紅葉
➡ P.14
森林公園として整備され、
多くの樹木が植えられた紅葉の名所。



東京ミチテラス
毎年 12 月下旬に、
東京駅前行幸通りで行われる
光の祭典。



丸の内イルミネーション
➡ P.62
千代田の冬の風物詩。
丸の内仲通りの街路樹が光できらめきます。



旧江戸城の史跡が残る、自然豊かな公園

皇居エリア

旧江戸城の面影を残し、四季折々の自然を感じることの出来る皇居東御苑、皇居の顔とも呼ばれる二重橋があり、観光客で賑わう皇居外苑、文化・芸術施設が点在する北の丸公園があります。



おすすめ散歩コース

▶▶▶ 所要時間 約2時間

※各スポットの見学時間により、所要時間は変わります。



Start!! JR・東京メトロ 東京駅

約15分



1 楠木正成像

皇居外苑前にある楠公の騎馬像。全国でも名高い銅像のひとつ。

➡ P.13



約10分



2 桜田門

井伊直弼が暗殺された「桜田門外の変」で有名な城門。重要文化財。

➡ P.13

約3分



3 二重橋

手前の「石橋」と、すぐ奥にある「鉄橋」の２つの橋があります。

➡ P.13

約10分



4 和田倉噴水公園 和田倉無料休憩所

和田倉濠近くにある噴水公園。夜は噴水がライトアップされます。

➡ P.13

約5分



5 大手門

旧江戸城の正門。敵の侵入を避ける枡形門という形になっています。

➡ P.12

約2分



6 皇居東御苑 約30分

旧江戸城を整備した皇居附属庭園。天守や櫓などの遺構が残ります。

➡ P.12

約8分



7 北の丸公園

旧江戸城北の丸だった森林公園で桜の名所。文化・芸術施設も。

➡ P.14

約7分



8 日本武道館

日本を代表する武道場。屋根の曲線は富士山をイメージしたもの。

➡ P.15

約7分

Goal!! 東京メトロ 九段下駅

※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。変更する場合がありますので、ご確認ください。



皇居東御苑

旧江戸城の本丸・二の丸・三の丸を整備した皇居附属庭園です。江戸時代を偲ばせる天守台や櫓などがあり、皇居でもっとも歴史を感じさせるエリアです。都心にありながら自然が豊富なことから、散策や休憩所として親しまれています。年10回ほど「皇居東御苑ランチタイムコンサート」が開催され、お弁当を食べながら無料でコンサートが楽しめるとあって人気です。

千代田区千代田1-1　03-3213-1111　無料
・3/1～4/14、10/1～10/31　9:00～16:30
・4/15～8月末　9:00～18:00　・9/1～9月末　9:00～17:00
・11/1～2月末　9:00～16:00　※入園は閉園30分前まで
休 ・月・金曜（天皇誕生日以外の祝日は公開。月曜が休日の場合は公開、翌火曜休園）　・12/28～1/3

二の丸庭園

江戸時代の二の丸には、茶人であり建築家・作庭家の小堀遠州が造り、三代将軍徳川家光の命で改修されたと伝えられる庭園がありましたが、たびたびの火災で焼失。現在の回遊式庭園は、九代将軍徳川家重の時代に描かれた庭絵図面を元に復元されたものです。庭園の一角には菖蒲園があり、江戸情緒あふれる花菖蒲が植えられています。5月下旬から6月頃が見頃。



大手門



旧江戸城の正門で、大名はここから登城していました。枡形門（ますがたもん）といわれる形式になっていて、正面の高麗門をくぐると石垣を四角く巡らして直進できないようにされており、右側に渡櫓門（わたりやぐらもん）という武器庫がありました。

富士見櫓



旧本丸の南端にある三重の櫓です。どこからみても同じ形に見えることから、八方正面の櫓とも呼ばれています。明暦3年(1657年)の大火で天守閣が焼失した後は、富士見櫓が代用されたと伝えられています。

旧江戸城天守台跡



天守閣は、慶長11年（1606年）の家康、元和8年（1622年）の秀忠、寛永15年（1638年）の家光と将軍の代替わりごとに築き直された将軍権力の象徴でした。しかし、明暦3年（1657年）の大火で焼失し、現在は石垣だけが残っています。

百人番所



本丸と二の丸へ通じる要所である大手三の門前に設けられた番所です。鉄砲百人組と呼ばれた根来組、伊賀組、甲賀組、廿五騎組の4組が交代で詰めていました。与力20人、同心100人が、昼夜を問わず警護にあたりました。

三の丸尚蔵館

皇室に代々受け継がれた絵画・書・工芸品などの美術品類を、公開展示している博物館です。近世絵画の伊藤若冲や葛飾北斎をはじめ、室町時代以降の漆工品、高村光雲、山崎朝雲らの明治期の彫刻、近代の日本画ほか著名な中国絵画など現在約9,800点の作品が収蔵されています。常設展示はなく、展示内容は期間ごとに変わります。



千代田区千代田1-1　03-5208-1063　無料
・3/1～4/14、10/1～10月末 9:00～16:15　・4/15～8月末、9/1～9月末 9:00～16:45
・11/1～2月末 9:00～15:45　※入館は閉館15分前まで
休 ・月・金曜（天皇誕生日以外の祝日は公開。月曜が祝日の場合は開館、翌火曜休園）
・12/28～1/3　・展示会準備期間

皇居外苑の見どころ

黒松が点在する皇居前広場を中心とした国民公園。特別史跡江戸城跡として、多くの遺構を残す歴史の宝庫です。

千代田区皇居外苑 1-1　03-3213-0095

二重橋



皇居正面に見える優雅な石橋。手前の「正門石橋」と、すぐ奥にある「正門鉄橋」の二つの橋を総称して二重橋とも呼ばれていますが、厳密には奥の橋を指します。通常は使用されず、新年の一般参賀や外国賓客の皇居訪問等宮中の公式行事の際に利用されます。

楠木正成像（くすのきまさしげ）



忠臣・楠木正成公の騎馬像。楠公（なんこう）が正慶2年(1333年)隠岐の島から還幸途次の後醍醐天皇を兵庫の道筋でお迎えした折の勇姿を象ったもの。楠公像付近の「楠公レストハウス」は、レストラン&案内所になっています。

和田倉噴水公園



和田倉濠近くにある噴水公園。昭和36年(1961年)に作られ、滝やせせらぎもあり、変化に富んだ風景が楽しめます。夜は噴水がライトアップされ幻想的な雰囲気。テラスの無料休憩所があります。

千代田区皇居外苑 3-1
03-3213-0095
（皇居外苑管理事務所）

桜田門



正式には、旧江戸城外桜田門と呼ばれ、国指定重要文化財です。枡形が完全に残っている城門のひとつで、小田原街道の始点にあたり、小田原口とも呼ばれていました。安政7年/万延元年(1860年)、大老井伊直弼がこの門外の濠端で水戸浪士らに暗殺される「桜田門外の変」が起きました。

和田倉噴水公園レストラン

パレスホテル直営のレストラン。噴水を望むオペラハウスのような建物で、天井高8メートルの開放感あふれる空間になっています。ランチタイムはブッフェ形式の食事が、午後はティータイムが楽しめます。



千代田区皇居外苑3-1　03-5224-6062
・平日ランチ 11:00～14:00、ティータイム 14:00～17:00
・土日祝ランチ 11:00～12:30、13:00～14:30
ティータイム 14:30～17:00
・ディナーは貸切予約制 17:00～21:00（2時間制）
休 年末年始。土・日曜、祝日は貸切営業の場合あり



北の丸公園

旧江戸城の北の丸があった場所で、現在は緑豊かな森林公園です。ヤマモミジ、ケヤキ、コナラ、クヌギといった落葉樹林の中央に、明るい芝生広場や池があります。園内には、さまざまな樹木の名前をクイズ形式で楽しむグリーンアドベンチャーを設置。また、科学技術館、東京国立近代美術館、日本武道館など、文化・芸術施設が多く点在し、区内有数の桜スポットでもあります。

千代田区北の丸公園1-1　03-3211-7878

科学技術館





科学技術・産業技術の総合的博物館。現代から近未来の科学技術や産業技術を紹介しています。展示は参加体験型のものが多く、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に興味、関心を深められます。毎日数多くの実験ショーを開催。ワクエコ・モーターランド展示室では、色々な乗り物の運転をシミュレーターで体験できます。

千代田区北の丸公園2-1　03-3212-8544　9:30～16:50（入館は16:00まで）　大人 880 円、中学生、高校生 500 円、子ども（4 歳以上）400 円　休 水曜不定休（学校の長期休みや 11 月～2 月などは開館）、年末年始

田安門



北の丸地区北側の靖国通りに面した田安門は、北の丸公園や日本武道館への出入り口になっています。現在の門は寛永 13 年（1636年）のもので、現存する旧江戸城建築遺構のうち最古のもので、重要文化財に指定されています。

清水門



江戸城北の丸に出入りするための城門の一つで、重要文化財。清水門の一角に江戸時代そのままの雁木坂が残されています。敵に攻め入られても容易に駆け上がれないよう、段差が非常に高く、急な石段になっています。現在のものは万治元年（1658年）に再建されたものです。

日本武道館

昭和39年（1964年）に開催された東京オリンピックの柔道競技会場として建設。日本の武道の中心地です。武道場としてだけでなく、さまざまなイベント、特にコンサート会場として使用されていることでも有名です。建物は法隆寺夢殿を想わせるもので、正八角形で擬宝珠（ぎぼし）を載く銅版葺き屋根が特徴です。大屋根の曲線は富士山の稜線を表しています。

千代田区北の丸公園2-3
03-3216-5100



東京国立近代美術館



所蔵品ガイド



本館 外観

日本で最初の国立美術館。横山大観や菱田春草らの重要文化財を含む13,000点を超える所蔵作品数は国内最大級です。その中から会期ごとに選りすぐりの名作約 200 点を展示するMOMATコレクションは、20世紀初頭から100年を超える日本美術の歴史を一挙にたどれます。ガイドスタッフと参加者がトークしながら鑑賞するプログラムや、展望休憩室「眺めのよい部屋」からの眺望も人気です。

千代田区北の丸公園3-1　03-5777-8600（ハローダイヤル）
10:00～17:00（金・土曜日は～20:00）※入館は閉館30分前まで　休 月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、展示替期間、年末年始
一般 500 円、大学生 250 円、高校生以下および 18 歳未満・65 歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添者 1 名は無料
※金・土曜日は 17:00～ 一般 300 円 / 大学生 150 円

旧近衛師団司令部庁舎

明治 43 年（1910 年）に近衛師団司令部として建てられ、ネオ・ゴシック様式で、赤レンガと同じ白い石材の対比・細いバットレス（補助壁）が並ぶリズミカルな壁面などが特徴です。東京国立近代美術館工芸館として利用していましたが、令和 2年（2020 年）石川県金沢市への移転のため閉館し建物だけが残っています。





千代田区北の丸公園1-1

千鳥ヶ淵

全国的に有名な桜の名所。全長約700 mの千鳥ヶ淵緑道には、ソメイヨシノやオオシマザクラなど約 260 本の桜が咲き、まるで桜のトンネルのようです。



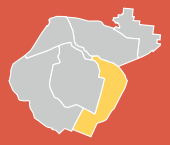
千代田区九段南 2～3 番町 2 先
03-5211-4243（千代田区道路公園課）

国立公文書館

国の歴史資料として重要な公文書等を閲覧できます。そのほか、常設展や、特別展、企画展などの展示会も開催。詳細はHP参照。



千代田区北の丸公園3-2　03-3214-0621
9:15～17:00（入館は16:30まで）
休 月曜日、日曜日、祝日、年末年始　無料



東京の玄関口は、映画・劇場文化の発信地

丸の内・大手町・日比谷エリア

東京駅を中心に広がる丸の内・大手町には、ブランドショップや大型商業施設が多数。映画館や劇場が集まる日比谷エリアは文化の発信地でもあります。緑やアートスポットも点在し散策におすすめです。



おすすめ散歩コース

▶▶▶ 所要時間 約2時間

※各スポットの見学時間により、所要時間は変わります。

Start!!

① 東京駅 丸の内駅舎



赤レンガ造りの東京駅。創建当時の姿に復原された重要文化財。

➡ P.20

約4分

② KITTE（キッテ） 約30分



日本郵便が手がける商業施設。個性的な店舗＆飲食店が集結。

➡ P.21

約3分

③ 丸ビル 約30分



東京駅前の大型複合施設。35・36階のプレミアムレストランゾーンでは上質な時間が過ごせます。

千代田区丸の内2-4-1
03-5218-5100
ショップ　11:00～21:00（平日）
レストラン　11:00～23:00（平日）
日曜・祝日は　ショップ　～20:00
レストラン　～22:00
※一部店舗により異なる
休 1/1、法定点検日

約5分

④ 三菱一号館美術館 約30分



明治27年（1894年）建設のビルを復元した赤レンガの美術館です。

➡ P.21

約3分

⑤ 明治生命館 約10分



昭和期の代表的な建築物で重要文化財。建物内部の一部を一般公開。

➡ P.21

約3分

⑥ 丸の内仲通り



カフェ、ブランドショップ、商業施設が並ぶ目抜き通り。アート作品の展示も見逃せません。

➡ P.20

約10分

⑦ 日比谷公園



大噴水池を囲む大花壇で四季の花が楽しめます。イベントも多数。

➡ P.18

約3分

⑧ 東京ミッドタウン日比谷 約30分



都内最大級のシネコンをはじめ、ショップ＆レストランが集結。

➡ P.19

約5分

Goal!!

JR・東京メトロ 有楽町駅

※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。変更する場合がありますので、ご確認ください。



日比谷公園

明治36年(1903年)、日本で最初に誕生した近代的な洋風公園。ビジネス街のなかにある緑のオアシスで、噴水や花壇、日本庭園式の池などが整備されています。新緑や花、紅葉など、園内の木々が四季を通じて訪れる人を楽しませます。園内には公会堂、大小音楽堂、図書館などがあり、年間を通じて多種多様なイベントが開催されています。

千代田区日比谷公園　03-3501-6428



大噴水

日比谷公園のシンボルともいえる大噴水。直径30mの噴水池は上中下段の三段構造で、主噴水の噴き上げ高さは12m。毎日8時から21時まで28分周期で、変化に富んだ水の景色を楽しめます。夜はライトアップあり。



第一花壇・第二花壇

幾何学文様の第一花壇と、広々とした芝生を望む第二花壇があります。特に第一花壇は明治の開園当初から当時としては珍しかったチューリップ、パンジー、バラなどの洋花が咲き誇り、大変な人気を博しました。

日比谷野外音楽堂



一般に「野音」の名で親しまれている、日本を代表する野外音楽堂。都心ながら木々に囲まれた開放的な会場として、様々なアーティストのコンサートに使用されています。

日比谷見附跡・心字池



日比谷見附は江戸城の城門(見附)の一つで、現在は石垣の一部のみが残っています。石垣近くの心字池は、お濠の面影を残したもの。上から見ると「心」の字をくずした形をしています。冬は松の雪吊りが風物詩になっています。

首かけイチョウ



推定樹齢400～500年、幹周り7mもある大イチョウ。もともとは現在の日比谷交差点にあり、道路拡張のため伐採寸前のところ、公園を設計した本多静六博士が「首を賭けても」と守り、ここに移植しました。

雲形池(くもがた)



文字どおり雲の形をした池。装飾用噴水としては日本で3番目に古い「鶴の噴水」があります。歴史を感じる銅製の鶴で、羽根を広げた優美な姿が印象的です。池周辺は紅葉や新緑、藤棚も見どころです。



東京ミッドタウン日比谷

都心最大級のシネコン「TOHOシネマズ 日比谷」をはじめ、個性豊かな約60店舗が入る大型複合施設。劇場空間都市をコンセプトにした優美で品のある建築デザイン。3層吹き抜けのアトリウムや屋外広場では、様々なイベントも開催。

千代田区有楽町1-1-2　03-5157-1251(11:00～21:00)　休 1/1
ショップ 11:00～21:00、レストラン 11:00～23:00(店舗により異なる)

B1F 日比谷アーケード

地下のアーケードは、以前この地にあった三信ビルディングのアーケードをモチーフにしたもの。街の記憶を継承する、モダンなデザインも見どころです。



3F HIBIYA CENTRAL MARKET

服や書店、居酒屋、理容室、コーヒーショップなどが集まった小さな街のような複合型店舗。見知らぬ土地の市場を探索するようなワクワクが詰まった空間です。



4・5F TOHOシネマズ 日比谷

都心最大級の全13スクリーン、約2,800席の映画館。「映画の宮殿」をテーマにした極上空間が特徴。日本初導入の音響設備や、革製リクライニングシート(有料)なども。



6F パークビューガーデン

緑豊かな空中庭園。目の前に日比谷公園と皇居外苑が広がり、景観を活かした様々なイベントも開催。同じフロアにはガーデンテラスも。





日比谷の守り神！ゴジラ像は2つある!?

2018年春、日比谷シャンテ前の広場が「日比谷ゴジラスクエア」として生まれ変わり、新・ゴジラ像が登場。日比谷の守り神であり、人気の撮影スポットになっています。それまであったゴジラ像は、TOHOシネマズ日比谷のロビーにいるので、2つともお見逃しなく！





東京駅 丸の内駅舎 〔→P60〕

大正3年(1914年)に開業した日本の玄関口、東京駅。歴史と風格を感じられる赤レンガ造りの建物は東京の顔として愛されてきました。重要文化財である丸の内駅舎は、保存・復原工事を経て、現在は創建当時の姿に復原されています。レンガ壁や天然スレート屋根といった外観だけでなく、南北2つあるドーム内には創建時の大鷲や干支のレリーフが復刻されています。

千代田区丸の内1丁目

新丸ビル



東京駅前の大規模複合施設。個性豊かなショップやレストランなど約150店舗が入る。7階の丸の内ハウスには眺望抜群のテラスや深夜まで営業している飲食店も。

千代田区丸の内1-5-1
03-5218-5100　休 1/1、法定点検日
ショップ　11:00～21:00、レストラン　11:00～23:00
日曜・祝日は ショップ　11:00～20:00、
レストラン　11:00～22:00　※一部店舗により異なる

丸の内オアゾ



国内最大級の書店や30店舗以上のカジュアルカフェから上質なレストランまで揃う知的なオアシス街。

千代田区丸の内1-6-4
03-5218-5100
休 1/1、法定点検日
飲食・食物販　9:00～21:00、物販・サービス　10:00～21:00、
飲食　11:00～23:00　書籍・文具　9:00～21:00
※一部店舗により異なる

丸の内ブリックスクエア



高感度なショップやこだわりのレストランが入るほか、敷地には緑豊かな広場や三菱一号館美術館があります。

千代田区丸の内2-6-1
03-5218-5100
休 1/1、法定点検日
ショップ　平日・土曜 11:00～21:00、日曜・祝日 11:00～20:00、
飲食店　平日・土曜 11:00～23:00、日曜・祝日 11:00～22:00
※一部店舗により異なる

丸の内仲通り



有名ブランドの路面店や商業施設が並ぶ丸の内のメインストリート。冬には、街路樹がイルミネーションで彩られます。(11月上旬～2月中旬)

千代田区丸の内1～3丁目、
有楽町1丁目

丸の内ストリートギャラリー



丸の内仲通りに個性豊かな彫刻作品を展示しアートの街として発信。アーティストの作品を鑑賞できます。

千代田区丸の内1～3丁目、
有楽町1丁目

三菱一号館美術館



明治27年(1894年)に竣工した、丸の内初のオフィスビル「三菱一号館」を復元し、美術館として開館した。19世紀後半から20世紀前半の近代美術をテーマにした企画展を年3回開催。明治時代の銀行営業室を復元したクラシックな趣のカフェ・バー「Café 1894」や、世界中からセレクトした雑貨が揃うミュージアムショップ「Store 1894」もあり、こちらは入館料不要。丸の内の歴史体感スペース「歴史資料室」併設。



千代田区丸の内2-6-2　03-5777-8600 (ハローダイヤル)
10:00～18:00 (祝日・振替休日除く金曜、第2水曜、会期最終週平日は21:00まで。
入館は閉館時間30分前まで。)
休 月曜 (祝日・振替休日・会期最終週の場合は開館)、年末、1/1、展示替期間

明治生命館



昭和9年(1934年)竣工。古典主義的な意匠の建物で、コリント式列柱が並ぶ外観や内部に大空間を持つ点が特徴。同時代の建築物の中でも特に質の高い代表的な建物で、昭和期の建築物としては初めて重要文化財に指定されました。1階店頭営業室、2階会議室・応接室・食堂などが一般公開され、文化的価値の高い主要室を見学できます。資料・展示室もあります。



千代田区丸の内2-1-1　03-3283-9252
土・日曜11:00～17:00、
水～金曜 (祝日は除く)16:30～19:30
(2階の一部と1階ラウンジ)
休 月・火曜、祝日、12/31～1/3

KITTE（キッテ）

日本郵便が手がける商業施設。日本のものづくりにこだわった雑貨店や地域で話題の飲食店など個性豊かな店舗が入る。1階の東京中央郵便局では限定オリジナル商品も販売。



千代田区丸の内2-7-2 JPタワー「KITTE」
B1F～6F
03-3216-2811 (10:00～19:00)
物販 11:00～21:00(日曜・祝日は～20:00)、
飲食 11:00～23:00(日曜・祝日は～22:00)
休 1/1、法定点検日



東京ステーションギャラリー

東京駅にある美術館。香り高い文化の場として随時企画展を開催。展示室は赤レンガ壁を活かした八角形の空間になっています。



千代田区丸の内1-9-1 JR東京駅丸の内北口改札前
03-3212-2485
10:00～18:00(金曜は～20:00)入館は閉館30分前まで
休 月曜(祝日の場合は開館、翌火曜休館)、年末年始、展示替期間
¥ 有料

出光美術館

実業家・出光佐三が創設した美術館。東洋古美術を中心とした収蔵品を、企画展を通して紹介している。併設ではルオーの作品も。



千代田区丸の内3-1-1帝劇ビル9F
03-5777-8600 (ハローダイヤル)
10:00～17:00(金曜は～19:00)入館は閉館30分前まで
休 月曜、年末年始、展示替期間 (祝日および振替休日は開催)
¥ 一般1,200円、大学生・高校生800円、
中学生以下無料 (但し、保護者の同伴が必要)

東京国際フォーラム



東京を代表する国際コンベンションセンター。大小８つのホール、34の会議室などからなり、国際会議、展示会、コンサート、ミュージカル、ファッションショーなど、幅広いジャンルのイベントが一年を通じて開催されています。ガラスの巨大な吹き抜けホール「ガラス棟」は、船をイメージしたもので、シンボリックな建物になっています。



千代田区丸の内3-5-1
03-5221-9000
7:00～23:30

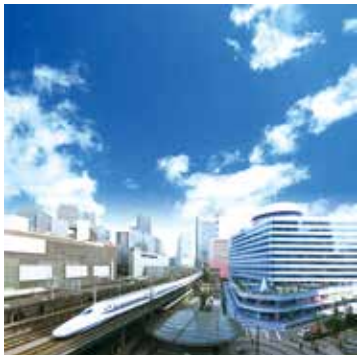
© TOKYO INTERNATIONAL FORUM CO., LTD.

東京交通会館

有楽町駅前にある商業ビル。最上部の 15 階の回転レストラン「銀座スカイラウンジ」をはじめとする飲食店、全国の物産店やパスポートセンター、展示会場など様々な店舗が入っています。1 階ピロティでは、交通会館マルシェを毎日開催。産地直送の新鮮な野菜や果物が並びます。3 階には屋上庭園があり、ウッドデッキやベンチのある憩いの場になっています。

千代田区有楽町2-10-1　03-3212-2931
9:00～22:00（店舗により異なる）　休 1/1





日比谷図書文化館



日比谷公園内にある図書館。千代田区の歴史を学べる常設展示室や古書などにも触れられる複合文化施設。カフェやレストランの併設も。

千代田区日比谷公園1-4　03-3502-3340
平日10:00～22:00、土10:00～19:00、日・祝10:00～17:00
休 毎月第３月曜、12/29～1/3、特別整理期間

日比谷松本楼



日比谷公園にあるレストラン。洋食グリルのガーデンテラス、フランス料理も楽しめます。9/25の10円カレーチャリティーも有名。

千代田区日比谷公園1-2 日比谷公園内　03-3503-1451
洋食：グリル&ガーデンテラス 11:00～21:00（LO20:30）、仏蘭西料理：ボア・ド・プローニュ11:00～22:00（LO21:00）
休 なし

東京宝塚劇場

昭和９年(1934 年)、東京での宝塚歌劇の拠点となる劇場として誕生。客席2065席を備え、臨場感あふれるステージが楽しめます。



千代田区有楽町1-1-3
0570-00-5100　宝塚歌劇インフォメーションセンター
10:00～18:00　休 月曜

日生劇場

日本を代表する建築家・村野藤吾が設計した劇場。天井や壁面が曲線で構成された優雅な劇場空間でオペラやミュージカルなどを観劇できます。



千代田区有楽町 1-1-1　03-3503-3111
休 公演により異なる

帝国ホテル 東京

明治23年(1890年)、日本の迎賓館として開業したホテル。国内外の著名人が数多く滞在することでも有名です。レストラン＆バーはバラエティに富み、フランス料理、日本料理、バイキングレストランのほか、名建築家フランク・L・ライト氏による旧ライト館の面影を残す「オールドインペリアルバー」も。本館地下１階の「アーケード」には厳選されたブランドが並びます。



千代田区内幸町1-1-1　03-3504-1111
レストラン、アーケードは店舗により異なる



帝国劇場

皇居のお濠、日比谷通りに面して建つ劇場。明治44 年(1911年) に日本初の本格的洋式劇場として開館。オペラ・バレエ、シェークスピア劇を上演するなど、常に日本演劇界をリードしてきました。現在も日本ミュージカルの聖地と呼ばれています。ロビーには、由緒ある美術品が点在。日本の祭りと舞台をダイナミックに表現した７色のステンドグラスは圧巻です。

千代田区丸の内3-1-1
03-3213-7221

将門塚



大手町の OTEMACHI ONE の南側に、将門首塚の碑があります。平将門公を祀った場所で、勝負運が向上するというご利益のあるパワースポットとしても知られています。

千代田区大手町1-2-1

コニカミノルタプラネタリア TOKYO



プラネタリウムを中心とした複合型映像体験施設。ドームシアターでは最大8Kの星空映像を中心に音楽ライブなども上映。VR アトラクションも。

千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン９階
03-6269-9952（10:00～19:00）　10:30～22:30（最終受付 21:30）
休 無休（作品入替・メンテナンス期間は休館）
¥ 施設・作品により異なる。詳細は HP 参照

昭和のムード満点！有楽町ガード下



JR 有楽町駅の高架下の飲み屋街、有楽コンコース。昭和時代の懐かしい看板やポスターなどが残り、レトロムード満載です。赤ちょうちんなどの大衆酒場だけでなく、おしゃれなバルなどもあり女性同士の飲み会やデートで利用する人も増えています。店前にテーブルが並べられ、わいわい楽しめるのが魅力。最近では外国人観光客にも人気です。

日本の中枢機関を巡り、伝統文化に触れる
麹町・番町・永田町エリア



国会議事堂がある永田町や、官庁街がある霞が関は日本の政治の中枢。一般公開されている場所もあるので、見学してみては？紀伊・尾張の徳川家＆井伊家ゆかりである土地柄から「紀尾井」の地名がついた紀尾井町では、江戸から続く庭園を散策。歴史と文化が色濃く残るエリアです。

交＝交番

おすすめ散歩コース

▶▶▶所要時間 約4時間30分

※各スポットの見学時間により、所要時間は変わります。

Start!! 東京メトロ霞ケ関駅

約2分

① 法務省旧本館



霞ヶ関駅から官庁街を皇居方面へ進むと現れる赤レンガ棟は、司法省（当時）庁舎。

➡ P.28

約12分

② 国会議事堂 約60分



国会議事堂は、衆議院・参議院とも見学可能。所要約1時間。

➡ P.26

約3分

③ 国会前庭・憲政記念館 約20分



国会議事堂の前に広がる緑豊かな庭園。向かって右側の南庭から入り、北庭へ。

➡ P.27

約15分

④ 日枝神社 約10分



山王祭で有名な神社。鎌倉時代初期に創祀。優美な本殿が見どころ。

➡ P.30

約15分

⑤ 赤坂見附跡



江戸城三十六見附のひとつ。見附は警備の城門で、現在は国道246号沿いに赤坂御門の石垣が残っています。

千代田区紀尾井町1

約5分

⑥ 赤坂プリンスクラシックハウス（旧李王家邸）



赤坂プリンスクラシックハウスは、旧李王家邸。建物内外に豪華絢爛な装飾が施されています。

➡ P.31

約15分

⑦ ホテルニューオータニ日本庭園 約10分



清水谷の坂を上って左に折れ、紀尾井坂へ。名門ホテルの日本庭園は、東京の名園のひとつ。

➡ P.31

約12分

⑧ 迎賓館赤坂離宮 約60分



日本で唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物。各国からの賓客を迎える外交の場を見学可能。

➡ P.28

約12分

⑨ 聖イグナチオ教会 約10分



カトリック東京大司教区の教会。楕円形の主聖堂が特徴で、ステンドグラスが美しい。

➡ P.31

約3分

Goal!! JR・東京メトロ四ツ谷駅

※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。変更する場合がありますので、ご確認ください。



国会議事堂

国会は、国権の最高機関であり唯一の立法機関です。国会議事堂の現在の建物は、昭和11年(1936年)に竣工。建築物としても美しく、毎年多くの人が見学に訪れています。

千代田区永田町1-7-1

国会議事堂は、中央の玄関を挟んで向かって左が衆議院、右が参議院です。御影石造りの重厚な建物で、内部の優美な装飾も一見の価値があります。本会議開会中や特別な行事の時以外、内部の一部は見学可能。本会議場、天皇陛下の部屋である御休所、中央広間などを約1時間でまわる見学コースに参加できます。衛視さんが案内してくれるので、広い国会内でも迷うことはありません。

※両院とも、手荷物検査があるので、時間の余裕を持って出かけましょう。

※詳細は、公式HPで確認を。



衆議院本会議場



参議院本会議場



参議院御休所



参議院中央広間

見学案内

■ 衆議院

〔平日〕8:00～17:00（最終受付 16:00）
〔土曜、日曜、祝日〕
9:30、10:30、11:30、13:00、14:00、15:00 の6回

03-3581-5111（土日祝：03-3581-0069）

! 平日とそれ以外の日では、受付場所が異なります。

見学案内

■ 参議院

〔平日のみ〕9:00～16:00 の毎正時

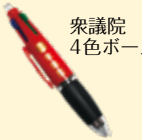
03-5521-7445

国会みやげコレクション

国会みやげは、ここでしか買えないユニークなものばかり。
団体バス駐車場待合所内の売店で、見学者だけでなく誰でも買うことができます（平日のみ）。



歴代首相湯呑



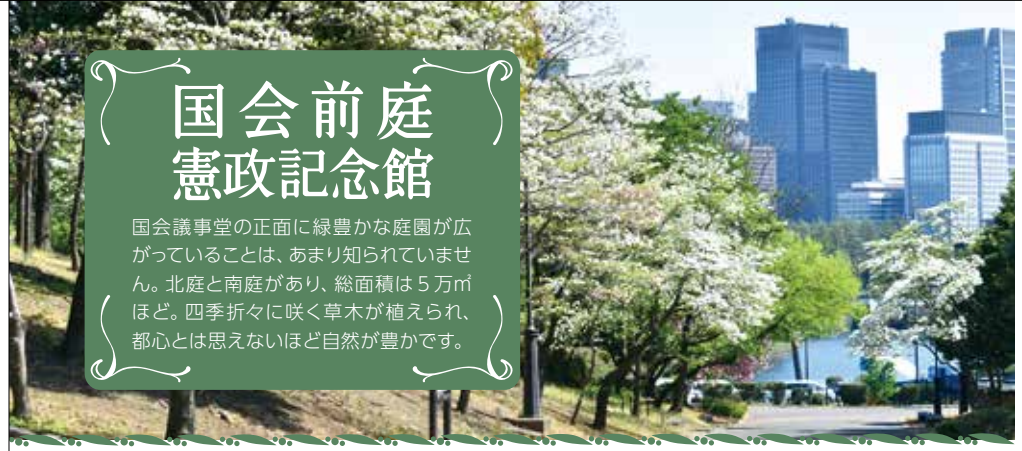
衆議院4色ボールペン



スチール名刺入れ



国会議事堂限定焼



国会前庭 憲政記念館

国会議事堂の正面に緑豊かな庭園が広がっていることは、あまり知られていません。北庭と南庭があり、総面積は5万㎡ほど。四季折々に咲く草木が植えられ、都心とは思えないほど自然が豊かです。

国会前庭（こっかいぜんてい）

江戸時代には大名屋敷跡があった高台に開設された庭園。約120本のさまざまな品種のサクラなど、四季を通じて美しい木々が目を楽しませてくれます。南庭と北庭があり、北庭には国会や政治のしくみと歴史を紹介する憲政記念館があります。

千代田区永田町1-1-1　03-3581-1651
9:00～17:30　休 12/29～1/3　¥ 無料



南庭／和風庭園
小川や滝を模した水辺があり、池のほとりに東屋があります。野鳥のさえずりが聞こえ、緑深いしっとりとした雰囲気の中、落ち着いて散策が楽しめます。



北庭／洋風庭園
尾崎行雄がアメリカ・ワシントン市に贈ったサクラの返礼として改めてアメリカ政府から寄贈された約100本のハナミズキなど、多くの木々が生い茂る洋風庭園。時計塔、井伊家の屋敷前にあった櫻の井（井戸）、全国の土地の標高を決める基となる「日本水準原点」を保管する標庫があります。また、皇居や丸の内方面の眺望が楽しめます。

時計塔
立法・行政・司法の三権分立を象徴して、三面に時計があります。チャイム音は1日3回鳴りますが、そのうち10時は参議院本会議、13時は衆議院本会議の通常の開始時刻です。

憲政記念館

かつて加藤清正や幕末の大老・井伊直弼などが住んだ屋敷跡に建つ展示施設。昭和47年（1972年）に開館し、国会の組織や運営などを資料や映像によってわかりやすく紹介しています。入口には“憲政の神様”と呼ばれた尾崎行雄の銅像が建っています。

千代田区永田町1-1-1　03-3581-1651
9:30～17:00（最終入館 16:30）
休 毎月末日、12/28～1/4　¥ 無料













出典：内閣府迎賓館ウェブサイト

迎賓館赤坂離宮

明治42年(1909年)に東宮御所として建設された、日本で唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物。戦後は国の迎賓施設となり、各国の国王や大統領などの賓客を迎える重要な外交の舞台になっています。大改修後の平成21年（2009年)、国宝に指定され、優美な装飾を施された内部を一般に公開。見学できるのは本館、和風別館、庭園で、参観料は場所により異なります。一般公開の詳細や公開日は公式HPで確認を。

港区元赤坂2-1-1　03-5728-7788　10:00～17:00（最終受付16:00）
休 水曜・不定休　¥ 有料



法務省旧本館

ドイツ人の高名な建築家エンデとベックマンの設計により、明治28年（1895年）に完成したドイツ・ネオ・バロック様式の司法省（当時）庁舎。戦災の影響を受けましたが、平成６年に復原。赤れんが棟と呼ばれ、かつての司法大臣の官舎大食堂などが法務史料展示室として一般開放されています。建物外観は国の重要文化財に指定。



千代田区霞が関1-1-1
03-3592-7911
10:00～18:00（最終入室17:30）
休 土曜、日曜、祝日　¥ 無料

文部科学省 情報ひろば

昭和８年（1933年）に創建された旧文部省庁舎（登録有形文化財）を利用して整備した文部科学省の今と昔をテーマとした展示・イベント空間。復原された旧大臣室や、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の歴史や最新情報に関する展示が見学できます。特別展示や「サイエンスカフェ」などのイベントも開催。



千代田区霞が関3-2-2
03-5253-4111（内線2170）
10:00～18:00（入館は17:30まで）
休 土・日曜、祝日、年末年始　¥ 無料



国立劇場

日本の伝統芸能の公開・保存および振興を目的として建設。大劇場、小劇場、演芸場、能楽堂、文楽劇場があり、大劇場で花形役者が出演する歌舞伎公演が行われるほか、初心者向けや外国人向けの鑑賞教室も開催。

千代田区隼町4-1
03-3265-7411







国立劇場 伝統芸能情報館

国立劇場の裏手にある付属施設。伝統芸能に関するさまざまな企画展示を行っているほか、関連図書閲覧室も利用できます。



千代田区隼町4-1
03-3265-6300（図書閲覧室）
10:00～17:00
第3水曜のみ～20:00
休 土・日曜（第2日曜は開室）、祝日、月末整理日など

紀尾井ホール



新日本製鐵株式会社（現・新日鐵住金株式会社）の創立20周年を記念して平成７年（1995年）にオープン。クラシック音楽専用で室内楽に適した紀尾井ホールと、邦楽専用の紀尾井小ホールがあります。

千代田区紀尾井町6-5　03-3237-0061

日本棋院本院



日本棋院が運営する囲碁の対局場。一般対局が行われるほか、入門者から中級・上級までの教室も行われています。有料で対局もできます。

千代田区五番町7-2　03-3288-8840　11:00～18:00
休 12/29～1/4　¥ 一般1,500円、高校生810円、中学生以下570円

半蔵門

江戸城の西端にある門。その正面から甲州街道に続いています。現在は皇居の一部であり、皇族方の吹上御苑への出入口として使われています。

千代田区麹町1



日本カメラ博物館

一般財団法人日本カメラ財団が運営するカメラの博物館。国産カメラの発展史を物語る歴史的カメラ約300台を常設展示し、テーマに応じた特別展も開催。



千代田区一番町25 JCII一番町ビルB1　03-3263-7110
10:00～17:00　休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
¥ 一般300円、中学生以下無料



日枝神社（ひえじんじゃ）

鎌倉時代初期に創祀。江戸三大祭の山王祭が行われることで有名です。隔年開催の神幸祭では約300mの祭礼行列が練り歩く現代の王朝絵巻は圧巻です。厄除け、七五三詣、安産祈願で多くの参拝客が訪れます。



千代田区永田町2-10-5
03-3581-2471

清水谷公園（しみずだに）

江戸時代にはこの付近に紀伊徳川家と井伊家の屋敷があった場所。両家の境は谷で、紀伊家の屋敷内に霊水（清水）が湧き出ていたことが地名の由来。園内には大久保利通公哀悼碑が建ち、緑豊かな都会のオアシスとして親しまれています。

千代田区紀尾井2-1
03-5211-4243
（千代田区道路公園課）







平河天満宮

菅原道真公を主神に、八幡宮と東照宮（徳川家康）を祀る神社。太田道灌が江戸城内の梅林坂上に勧請したのが始まりといわれ、慶長12年（1607年）に現在の地に。徳川家、井伊家などの祈願所でもありました。梅のほかに牛もシンボルで、撫で牛を撫でるとご利益が。



千代田区平河町1-7-5
03-3264-3365

最高裁判所

日本の裁判所の最高機関。現在の庁舎は昭和49年（1974年）に建てられたもの。裁判の一般傍聴のほか、大法廷が見学できる庁舎ツアーあり。要予約。

千代田区隼町4-2
03-3264-8151（見学受付）



滝廉太郎住居地跡

「荒城の月」「花」などの名曲でおなじみの作曲家・滝廉太郎が、明治27～34年の間、一番町に住んでいました。日本の歌曲の創始者を偲んでレリーフが作られ、設置されています。

千代田区一番町6



ホテルニューオータニ 日本庭園

昭和39年（1964年）年創業の名門ホテルに隣接する約1万坪の日本庭園。かつての加藤清正の下屋敷、井伊家の庭園として400年余りの歴史があります。豊かな緑に囲まれたなかに、滝、池が配された池泉回遊式の庭園は、春には桜が咲くなど四季折々の表情を見せます。宿泊者以外も見学可能。

千代田区紀尾井町4-1
03-3265-1111
6:00～22:00
無料







東京ガーデンテラス紀尾井町

「グランドプリンスホテル赤坂」跡地に造られた大型複合施設。ホテルやオフィス・カンファレンスが入った「紀尾井タワー」のほか、商業ゾーンの「紀尾井テラス」に飲食店やショップが並び、新たなランドマークです。また、「赤坂プリンスクラシックハウス」は、旧李王家東京邸。建物内外に豪華絢爛な装飾が施されています。



千代田区紀尾井町1-2 他
03-3288-5500
休 店舗により異なる

聖イグナチオ教会



カトリック東京大司教区の教会で、正式名称は「カトリック麹町教会」。楕円形の主聖堂の内部は、参列者が祭壇を囲む独特な配置が特徴です。

千代田区麹町6-5-1
03-3263-4584

紀尾井アートギャラリー



日本文様の宝庫「江戸の伊勢型紙」を展示する世界唯一の美術館です。日本の芸術文化の特設展も。モダンな建物に自然光があふれ、落ち着いて鑑賞可能。要予約。

千代田区紀尾井町3-32
03-3265-4001
11:00～17:00
休 祝日
¥ 1,100円

番町ものがたり

明治・大正・昭和を通して、作家や芸術家が多く住んだのが番町界隈です。麹町大通りと大妻通りをつなぐ通りは通称“番町文人通り”。島崎藤村、泉鏡花、有島武郎、与謝野鉄幹、藤田嗣治らが住み、まさにここが文化の発信地だったのです。旧居跡には、現在、目印の案内プレートを設置。



江戸・明治の知識人が闊歩した文教地区

飯田橋・九段エリア



江戸城の内濠・外濠に囲まれ、都心とは思えない静かな雰囲気が今も残るエリア。当時の外濠が現存し、その石垣や土手が往時を偲ばせます。また、明治期には今も残る大学が相次いで創設され、多くの著名人が学んだ地でもあります。

おすすめ散歩コース

▶▶▶ 所要時間 約3時間

※各スポットの見学時間により、所要時間は変わります。

Start!! JR・東京メトロ 飯田橋駅

約2分

1 外濠公園 約10分



JR飯田橋駅から四ツ谷駅まで続く外濠沿いの公園で、遊歩道が整備。全長約2kmもあるので途中で飯田橋駅に戻りましょう。

➡ P.34

約5分

2 東京大神宮 約10分



「東京のお伊勢さま」と呼ばれて親しまれている、伊勢神宮の遥拝殿。日本で初めて神前結婚式を行った神社。

➡ P.36

約12分

3 靖國神社 約20分



明治天皇によって建てられた「東京招魂社」が始まり。明治維新から先の大戦までの戦没者の霊を祀っています。

➡ P.38

約12分

4 イタリア文化会館



世界約80か国で活動するイタリア政府の文化機関のひとつ。イタリア語コースや各種入場無料のイベントを開催。

➡ P.39

約12分

5 イギリス大使館



正式には「駐日英国大使館」。石造りの荘厳な建物です。散策途中に門柱の外から鑑賞を。

約5分

6 千鳥ヶ淵 約20分



江戸城の濠のひとつで、日本有数の桜の名所。ボート乗り場が西側にあり、水上から望む桜や皇居のお濠が眺められます。

➡ P.39

約5分

7 昭和館 約20分



戦中・戦後の国民生活の歴史的資料・情報を収集・保存。誰でもわかりやすい展示やイベントを開催。

➡ P.38

約2分

Goal!! 東京メトロ 九段下駅

※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。変更する場合がありますので、ご確認ください。



外濠公園（そとぼりこうえん）

江戸城の外濠に沿って、JR 飯田橋駅から市ヶ谷駅、四ツ谷駅まで約 2km に及ぶ細長い公園。車道から1段高い遊歩道になっており、四季折々の景観を楽しみながら、安心して散策できます。

千代田区富士見、九段北、五番町ほか



現存する外濠の土手

江戸城の外濠であった牛込濠・新見附濠・市ヶ谷濠の土手は、往時の姿をそのまま残しており、貴重な国の史跡となっています。



桜の名所

ソメイヨシノやヤマザクラなど約 240 本の桜が植えられ、春の開花シーズンには、散歩しながらお花見が楽しめます。



外濠沿いを走る電車

JR中央線・総武線は、四ツ谷駅～飯田橋駅間は外濠公園に沿って走っています。濠に映る土手と電車の景観が鉄道ファンを魅了。



緑の遊歩道

都心とは思えない自然豊かな遊歩道は、新緑の季節や冬の雪のシーズンなど、四季折々に変化する外濠の景観を眺めながら散策できます。



東京ドームシティ

JR水道橋駅北側に広がる、都市型エンターテイメントレジャー施設。東京ドームを中心に、遊園地、商業施設、スパ、ホテル、ホールなど、さまざまな施設が入っています。昭和 12 年（1937 年）に、プロ野球専用の後楽園スタヂアムが誕生したのが始まり。

文京区後楽1-3-61　03-5800-9999
休 施設により異なる

東京ドーム



後楽園球場が長い歴史に幕を下ろし、代わって昭和63年(1988年)に誕生した、日本初の全天候型多目的スタジアム。プロ野球の試合のほか、コンサートや各種イベントも開催。

東京ドームシティ アトラクションズ



入場無料で楽しめる遊園地。地上80mから東京を眺める大観覧車「ビッグ・オー」、スリル満点の「サンダードルフィン」など、子どもから大人まで楽しめるさまざまな乗り物があります。

宇宙ミュージアムTeNQ（テンキュー）



「宇宙を感動する」がコンセプト。宇宙空間を見る、触れる、想像するミュージアム。最先端のサイエンス、宇宙からのインスピレーションを受けたカルチャーを体感。

LaQua（ラクーア）



ショップ＆レストランに加え、リラクゼーションの「Spa LaQua」、会員制フィットネスクラブを備えた複合施設。

後楽園ホール



後楽園ホールビルの5階にある、日本の格闘技の聖地。昭和37年(1962年)の開場以来、ボクシング、プロレスなどの試合が行われ、歴史に残る名勝負が生まれました。

野球殿堂博物館

昭和 34 年 (1959年) に開館し、現在は東京ドーム内に移転。「野球殿堂入りの人々」肖像レリーフが飾られ、歴史資料を収蔵・展示。

文京区後楽1-3-61　03-3811-3600
10:00～18:00
(10月～2月は17:00まで、最終入館は30分前)
休 月曜（祝日、春・夏休み、東京ドーム野球開催日は開館）
年末年始 12/29 ～ 1/1
¥ 一般 600円、高・大学生 400円、小・中学生 200円



東京大神宮

伊勢神宮の遥拝殿として明治13年(1880年)に創建され、「東京のお伊勢さま」といわれ親しまれています。結びの働きを司る造化の三神を祀り、また日本で初めて神前結婚式を行った神社であることから、縁結びのご利益で有名。

千代田区富士見 2-4-1　03-3262-3566
開門時間 6:00～21:00





神楽坂とは？

JR飯田橋駅西口から牛込橋を渡ると、目の前に坂の商店街が見えます。神楽坂は、江戸時代から粋な街として栄え、時代を映してきました。明治以降は甲武鉄道牛込停車場開設をきっかけに、商店街が急速に発展。昭和初期には盛り場として賑わい、文人や学生らが集って文化の香り漂う街に。現在も商店街が活気にあふれ、路地裏には外国人観光客も多く訪れる国際色豊かなグルメ店が多数集まっています。

新宿区神楽坂ほか



神楽坂



善国寺の門前町



兵庫横丁

牛込見附跡

四谷、市ヶ谷、牛込に築かれた見附枡形門のひとつ。現在のJR線の駅の近くにあたります。飯田橋駅横の牛込橋の交番前には「松平阿波守」と刻まれた石垣石が残っています。

千代田区富士見 2





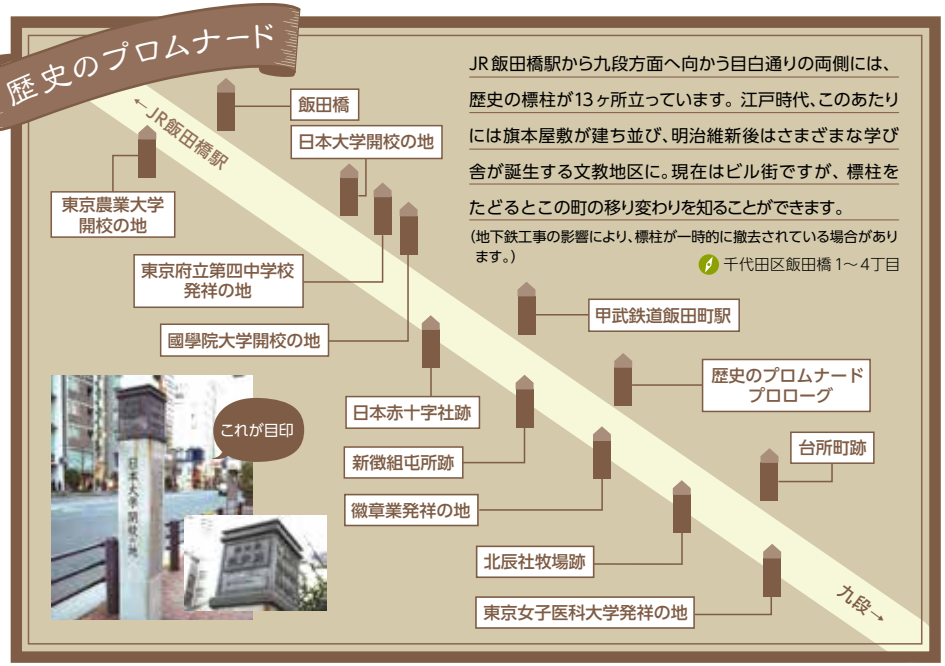


東京ルーテルセンター教会

昭和12年(1937年)に建てられたシンプルで親しみやすい北欧風の礼拝堂。昭和初期の洋風建築で、長谷部鋭吉の設計です。都選定歴史的建造物。

千代田区富士見 1-2-32







靖國神社

明治維新の戦歿者慰霊顕彰のため、明治天皇の思し召しにより明治２年(1869年)に建てられた「招魂社」が始まり。明治12年(1879年)に「靖國神社」と改称され、先の大戦までの戦歿者の神霊(みたま)を祀っています。境内には御祭神の遺品や史資料を展示する「遊就館」があり、桜・イチョウの名所。



千代田区九段北 3-1-1
03-3261-8326
6:00～18:00(11～2月は17:00まで)

昭和館

平成11年(1999年)に開館した国立の施設。戦中・戦後(昭和10～30年頃)に国民が経験した生活の労苦についての歴史的資料・情報を収集・保存・展示しています。常設の展示室、関連図書・記録映像・写真などの閲覧ができるほか、特別企画展も行われています。

千代田区九段南1-6-1
03-3222-2577
10:00～17:30(最終入館17:00)
休 月曜(祝日の場合は翌日)
年末年始12/28～1/4
¥ 大人300円、高校・大学生150円、小・中学生無料、65歳以上270円







千秋文庫(せんしゅう)

旧秋田藩主・佐竹家ゆかりの資料を収蔵・展示している博物館。古文書、古記録、古地図など貴重な文化資料が約2,300点も収蔵されています。



千代田区九段南 2-1-32
03-3261-0075
10:00～16:00入館は30分前まで
休 日・月曜、祝日
¥ 一般450円、大学生・高校生350円、小・中学生無料

二松学舎大学

明治10年(1877年)、漢学者・三島中洲が創設した「漢学塾二松学舎」が前身。卒業生には、夏目漱石、嘉納治五郎、中江兆民、犬養毅、平塚雷鳥らがいます。



千代田区三番町6-16
03-3261-1292

大村益次郎銅像

大村益次郎は幕末・明治の兵学者。明治26年(1893年)に制作された日本最古の西洋式の銅像。西郷隆盛像、楠木正成騎馬像と並ぶ、東京三大銅像のひとつ。



千代田区九段北3-1-1(靖國神社内)

千鳥ヶ淵

靖国通りから北の丸公園に沿った旧江戸城の濠。日本有数の桜の名所で、「千代田のさくらまつり」の期間中は緑道が花見客で賑わいます。ボート場があり、水面から桜を眺められます。

【区営千鳥ヶ淵ボート場】
千代田区三番町2先　03-3234-1948
10:00～17:00(季節により異なるので確認を)
さくらまつりライトアップ期間 9:00～20:30
休 月曜(祝日の場合は翌日休、さくらまつり期間中は無休)、12月～2月
¥ 30分500円、観桜期30分800円





千鳥ケ淵戦没者墓苑

先の大戦において海外で亡くなられた戦没軍人及び一般邦人のご遺骨を納めるため、昭和34年に国により建設された「無名戦没者の墓」です。令和2年10月現在約37万柱のご遺骨が奉安されています。年間を通じて各種団体主催の慰霊行事が随時行われており、苑内には樹木が鬱蒼と茂り、この墓苑の厳かさを一層感じさせてくれます。

千代田区三番町2　03-3262-2030　4月～9月 9:00～17:00/10～3月 9:00～16:00

小石川後楽園

水戸徳川家の江戸上屋敷の庭園。江戸初期の寛永6年(1629年)に、初代の頼房が造営し、二代藩主光圀(みつくに)の代に完成。中国趣味を取り入れ、池を中心にした回遊式築山泉水庭園。各地の景勝を模した景観が見事。国の特別史跡及び特別名勝に指定。

文京区後楽1-6-6　03-3811-3015
9:00～17:00(最終入園16:30)
休 年末年始12/29～1/1
¥ 一般300円、小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料、65歳以上150円





イタリア文化会館

男爵三井高陽が、千代田区三番町にあった所有地を文化会館設立のためにイタリア政府に寄贈。昭和16年(1941年)開館。平成17年(2005年)イタリア人建築家ガエ・アウレンティの設計により全面改修。イタリア語・文化講座や図書室があるほか、1年を通して展覧会やコンサートなど質の高いイベントを無料で開催。

九段南2-1-30　03-3264-6011　10:00～18:00　休 土曜、日曜、イタリアの祝日(お問い合わせを)

千代田区観光案内所(観光協会内)

千代田区内及び周辺区のみならず、全国の有名観光地の観光資料を揃えているほか、多言語対応(英語、中国語ほか)スタッフがご案内しています。

千代田区九段南1-6-17　10:00～18:00
休 第4日曜日、年末年始　観光協会 03-3556-0391(平日のみ)



古書店街散策と日本の伝統文化を味わう

神田・神保町・お茶の水エリア



江戸や明治から続く老舗が多く残る、サラリーマンの街・神田。日本最大の古書店街が広がる学生の町・神保町&お茶の水。歴史的価値のある文化が根強く残り、さらに新しい情報も飛び交う、郷愁と新鮮な刺激に満ちたエリア。

交＝交番

おすすめ散歩コース

▶▶▶ 所要時間 約2時間

※各スポットの見学時間により、所要時間は変わります。

Start!! JR・東京メトロ 御茶ノ水駅

約1分

1 JR御茶ノ水駅から見る聖橋



御茶ノ水橋から望む、神田川に架けられた美しい聖橋、東京メトロ丸ノ内線、JR線がクロス。

➡ P.44

約4分

2 楽器のまち お茶の水



JR御茶ノ水駅から明大通りを下って駿河台下へ。周辺には多くの楽器店があります。

➡ P.45

約10分

3 神保町古書店街



靖国通りの左側には、古書店や新刊書店が軒を連ねます。本を読むために喫茶店も多数。

➡ P.42

約5分

4 学士会館



関東大震災の復興建築で、国の登録有形文化財に登録。外壁タイル、玄関、窓のデザインが見どころ。

➡ P.46

約2分

5 小学館



書籍、雑誌などの総合出版社。人気コミックも多数。

➡ P.46

約3分

6



神田すずらん通り

書店や飲食店が建ち並び、散策におすすめです。

千代田区神田神保町1丁目

約7分

7 神田小川町スポーツ店街



駿河台下交差点と神田小川町交差点の間には、スポーツ用品専門店が建ち並んでいます。

➡ P.45

約10分

8 淡路町・須田町老舗街



江戸・明治から伝統を守る店が残る一角。そば屋、寿司屋、日本料理店など名店揃い。

➡ P.47

約10分

Goal!! JR・東京メトロ 神田駅

※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。変更する場合がありますので、ご確認ください。



神保町古書店街

神田神保町には、日本最大なのはもちろん、世界最大ともいえる古書店街があります。その数は約180店舗。新刊を扱う大小の書店も多く、巨大な本屋街となっています。本を読めるよう、喫茶店も多数。また、個性派のカレーの名店も揃っています。

靖国通りを駿河台下交差点から西へ向かうと、古書店や新刊書店が軒を連ねています。本が日焼けしないよう、店は北向きに建っているので、通りの南側に集中しています。大型の総合書店あり、小規模の専門店あり、特に古書店は専門店が多いのが特徴です。江戸時代の古地図、浮世絵などの版画、明治・大正・昭和の貴重な書物をはじめ、マンガの専門店も。日本の書物の歴史がこの街には詰まっています。

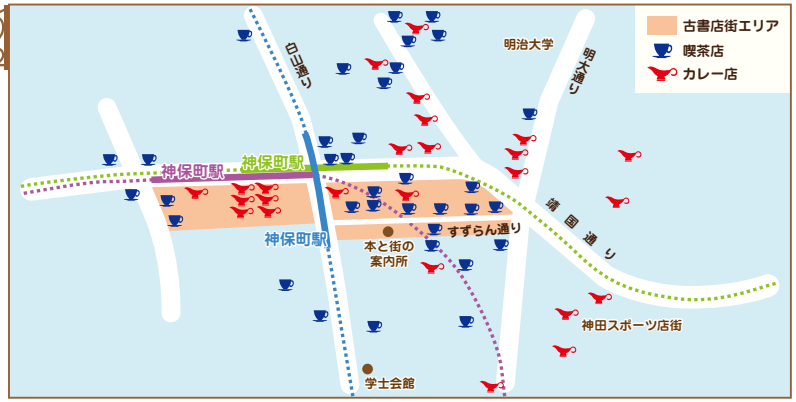
本と街の案内所

小学館ギャラリー BH 神保町内にある、神保町の案内所。探している書店やおすすめの飲食店などを、スタッフが教えてくれます。



千代田区神田神保町1-15　11:00～18:00　休 日曜、祝日

古書店街と喫茶店・カレー店のエリア図



神田には、かつて中華街があった!?

「中華街」といえば、横浜や神戸を思い浮かべる人が多いでしょう。現在ではあまり知られていませんが、実は明治末期から昭和にかけて、神保町界隈には中華街があったのです。アジアからの留学生が増え、教育機関、下宿屋街、飲食店街が作られました。当時から営業していた店が今も残っています。明治創業の「揚子江菜館」や周恩来が留学時に通ったといわれる「漢陽楼」、昭和21年創業の「新世界菜館」など。老舗の中国料理の味を楽しめるのも神保町の隠れた魅力です。



神保町の喫茶店

本の街・神保町の路地裏を散策すれば、老舗の喫茶店、純喫茶、ジャズ喫茶など、どこか懐かしい昭和レトロの名店が隠れています。もともと、本を読むための空間として喫茶店が増えていったようです。

この界隈で最も古いといわれる喫茶店「ラドリオ」は昭和24年(1949年)に開店。「ミロンガ・ヌォーバ」は、当初タンゴ喫茶としてスタート。店内に独特の雰囲気が漂う「さぼうる」は今も人気の喫茶店。「古瀬戸珈琲店」の店内はアート空間。「ピアノフォルテ」は名曲喫茶。好みの喫茶店を見つけて読書を楽しんでみては？



ミロンガ・ヌォーバ



さぼうる



古瀬戸珈琲店

神保町のカレー

神保町界隈で、喫茶店に次いで目立つのがカレー店。その数50店舗以上といわれ、欧風、インド風、洋食店の味などが揃い、あらゆるカレーが味わえます。お目当ての本が見つかったら読みながら食べるか、または、本を探す前の腹ごしらえに食べてもいいでしょう。

また、今では、神田全体がカレーの街として盛り上がり、ファン投票で選ぶ「神田カレーグランプリ」、「神田カレー街食べ歩きスタンプラリー」などのイベントが毎年開かれています。

「ボンディ」は欧風カレーの代表格





「スマトラカレー 共栄堂」のポークカレー

「インドレストラン マンダラ」のチキンバターマサラ





「スープカリー屋オオドリー〈鴻〉神田駿河台店」のスープカレー



ニコライ堂

正式名称は「日本ハリストス正教会教団東京復活大聖堂」。ニコライ・カサートキンにより、ロシア人建築家シチュールポフの基本設計を基にしたコンドル博士の設計で、明治24年(1891年)に完成しました。高さ35mのビザンチン様式の建物はお茶の水の名物。関東大震災により鐘楼が倒壊しドームが崩壊しましたが、昭和4年(1929年)に再建。聖堂の拝観可能。国の重要文化財。

千代田区神田駿河台4-1-3
03-3295-6879
聖堂見学 4～9月 13:00～16:00
(10～3月 13:00～15:30)
有料

聖橋（ひじりばし）



昭和2年(1927年)に関東大震災の復興橋として神田川に架けられた鉄筋コンクリートのアーチ橋。湯島聖堂とニコライ堂を結ぶ橋として一般公募で命名。

千代田区神田駿河台
4丁目ほか

アテネ・フランセ文化センター



映画による国際交流を目的に、世界各国の映画や映像作品の上映、講演会、シンポジウム、ワークショップなどを行っています。

千代田区神田駿河台2-11
アテネ・フランセ4F
03-3291-4339
13:00～20:00
休 日曜、祝日

カトリック神田教会

明治7年(1874年)に創建された、東京の教会のなかでも歴史ある教会。聖堂はフランス人神父が構想した昭和初期のもので、国の有形文化財に登録。



千代田区西神田1-1-12
03-3291-0861
見学時間 10:00～16:00
(儀式がある場合を除く)
休 月曜

明治大学博物館



私立大学の博物館としては最も長い歴史を持つ博物館のひとつ。商学部の「商品博物館」、法学部の「刑事博物館」、文学部の「考古学博物館」を統合。

千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン地階
03-3296-4448　10:00～17:00 (最終入館 16:30)
休 8/10～16、12/26～1/7、
8月は臨時休館あり (HPでご確認ください)
無料 (特別展は有料の場合あり)

楽器のまち お茶の水

JR御茶ノ水駅から駿河台下へ下る明大通りやその周辺には多くの楽器店があります。近隣に大学や学校が多いことから、このあたりには学生が多く、楽器店が集まりました。クラシックやアコースティックからバンドのギター、キーボード、ドラムまで、さまざまな楽器の総合店や専門店が並んでいます。

千代田区神田駿河台





神田スポーツ店街

駿河台下から神田小川町交差点付近までの靖国通り沿いには、スポーツ用品店が集中。各種球技やランニング、登山用品をはじめ、スキーやスノーボードなど、多くの専門店が充実し、シーズンには多くの買い物客で賑わいます。秋には神田スポーツ祭り、神田カレーグランプリ、冬には神田小川町雪だるまフェアを開催。

千代田区神田小川町、靖国通り

山の上ホテル



建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計によるアール・デコ様式の優美なホテルです。開業は1954年(昭和29年)。かつて多くの作家が滞在し、執筆した宿として開業以来「文化人のホテル」として広く知られています。客室35室に7つのレストラン&バー、ケーキや焼き菓子のテイクアウトショップもあります。



千代田区神田駿河台1-1
03-3293-2311

御茶ノ水ソラシティ

東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅に直結している複合ビル。誰でも利用できる憩いの広場「ソラシティプラザ」があるほか、飲食店やショップが多数入っています。



千代田区神田駿河台4-6
店舗により異なる

ワテラス

神田淡路町のシンボリックな複合ビル。「ワテラスモール」は地下1階から地上3階までのショッピングモールで、レストラン・カフェ・ショップあり。



千代田区神田淡路町2-101、103、105
03-3526-3555
店舗により異なる



学士会館

学士会は、旧帝国大学出身者の同窓会。現在の建物は、関東大震災の復興建築で、昭和3年(1928年)に竣工。玄関の半円大アーチ、階による窓のデザインの違いなどに特徴があり、国の登録有形文化財に登録。ホテル、レストランとしても利用されています。また、東京大学発祥の地、日本野球発祥の地、同志社大学の創始者・新島襄生誕の地の碑あり。



千代田区神田錦町3-28
03-3292-5936



神保町シアター

日本映画の名作を、テーマに沿って上映しているミニシアター。往年の銀幕スターがスクリーンによみがえります。上映スケジュールは公式 HP を参照。

千代田区神田神保町1-23
神保町シアタービル
03-5281-5132

神保町よしもと漫才劇場

芸歴７年目以下の若手芸人がオーディションライブでネタを練り上げていく劇場です。大阪のよしもと漫才劇場メンバーも定期的に出演。小さい劇場なので、ネタの臨場感も楽しめます。

千代田区神田神保町1-23
神保町シアタービル 2F
03-3219-0678

岩波ホール

昭和43年(1968年)に多目的ホールとして誕生し、後に映画の上映館に。制作国を問わず、文化性の高い作品を厳選して上映。ミニシアターの先駆け的存在。



千代田区神田神保町2-1
岩波神保町ビル 10F
03-3262-5252

小学館

1922年 (大正11年) に創設された総合出版社。幅広い分野の出版物を発行し、特に人気コミック作品を数多く世に出しています。玄関前に立つ等身大のドラえもんは一緒に記念撮影可能。地下鉄連絡口に「週刊少年サンデー」創刊 50 周年記念の寄せ書き入り巨大Gペンを展示 (情報は 2021 年1月現在のもので、変更する場合があります)。

千代田区一ツ橋2-3-1
03-3230-5211





淡路町・須田町老舗街

靖国通りの須田町交差点は、かつて5つの街道を結んだ交通の要所。青物市場も近くにあったのでこの界隈は大いに賑わい、江戸っ子の舌をうならせるグルメな店も次々誕生しました。現在も、多くの老舗が伝統の味を守っています。大戦の戦火を免れ、昔のままの店構えで営業する店が多いので、ノスタルジックな建物探訪の散策もおすすめです。













文化人に愛された名店たち



夏目漱石

神田淡路町・須田町界隈に残る多くの老舗の中には、文化人が足繁く通った店が少なくありません。明治の文豪・夏目漱石の好物だったといわれるのが、洋食「松榮亭」の洋風かきあげ。漱石のリクエストにより考案されたといわれ、肉と玉ねぎがたっぷり入ったオムレツ型の揚げ物です。以来、この店の名物に。



池波正太郎

時代小説家・池波正太郎は、食通としても知られ、この界隈をよく訪れています。前述の「松榮亭」の洋風かきあげやポテトサラダは大好物だったとか。ほかにも、あんこう鍋の「いせ源」、鳥すきやきの「ぼたん」、手打ちそばの「神田まつや」などがお気に入り。「竹むら」の揚げまんじゅうや栗ぜんざいも好物でした。



かんだやぶそば

明治13年(1880年)創業の老舗。江戸前そばの伝統を守る「藪蕎麦」の本店で、いわゆる「藪御三家」のひとつ。そば粉10・つなぎが1という、“外一そば”は細くて艶やか。濃いつゆに少し浸して、するっと啜り上げれば、のど越しの良さがわかります。



千代田区神田淡路町2-10
03-3251-0287
11:30～20:30
ラストオーダー20:00
休 水曜(祝日の場合は営業)

いせ源

天保元年(1830年)に創業した、都内唯一のあんこう料理専門店。江戸時代から続く伝統の調理法を用いています。あんこうは淡白な味ながらコクがあり、高タンパク低脂肪。あん肝は“海のフォアグラ”と称される珍味です。風情ある建物も魅力。



千代田区神田須田町1-11-1
03-3251-1229
11:30～14:00、17:00～22:00
土日、祝日は通し営業
休 無休(4～10月は土曜、日曜、祝日。年末年始は休み)





竹むら

昭和5年(1930年)創業の甘味処。当時の様子そのままの入母屋造り木造3階建の店は、東京都の選定歴史的建造物。名物の「揚げまんじゅう」は、外皮がサクッと揚がり、中の餡との相性抜群。北海道小豆の自家製餡を使っています。



千代田区神田須田町1-19
03-3251-2328
11:00～20:00
休 日曜、月曜、祝日

松榮亭

明治40年(1907年)創業の洋食屋で、夏目漱石の好物だった、オムレツ型の「洋風かきあげ」が名物。ハンバーグ、オムライスも人気。



千代田区神田淡路町2-8　03-3251-5511
11:00～14:00、17:00～19:30　休 日曜、祝日

近江屋洋菓子店

明治17年(1884年)創業以来、シンプルで素朴な洋菓子を作り続けている老舗。旬の果物にこだわり、毎日社長自ら市場で仕入れるほど。喫茶コーナーは17:00まで。



千代田区神田淡路町2-4　03-3251-1088
9:00～19:00(日曜、祝日10:00～17:30)
休 無休(年末年始の休業・営業時間は要問い合わせ)

丸石ビルディング

昭和6年(1931年)竣工の、山下寿郎建築事務所設計のオフィスビル。山下寿郎は霞が関ビルディングの設計者。1階の外壁には石材を、2階以上にはスクラッチタイルを貼っています。1階外周のアーチ型の装飾が優美で、随所に動植物のレリーフも飾られています。関係者以外は立入不可なので、通りから鑑賞を。

千代田区鍛冶町1-10-4





ぼたん

明治30年頃の創業以来、鳥すきやき一筋の名店。今でもガスを使わず、備長炭と鉄鍋で昔ながらの味を提供しています。昭和初期の建物が残り、東京都の選定歴史的建造物に指定。風情ある建物の中で落ち着いて料理を楽しめます。



千代田区神田須田町1-15
03-3251-0577
11:30～21:00
(入店は20:00まで)
休 日曜、祝日

神田まつや

明治17年(1884年)創業。石臼で挽いたそば粉を使い、熟練職人が伝統の技で仕上げる江戸前手打ちそばの店。そばの風味が豊かで、コシが強く、合わせるつゆはやや濃い口で下町の味。もりそばは1日1000食以上出る日も。



千代田区神田須田町1-13
03-3251-1556
11:00～20:00
(土曜、祝日～19:00)
休 日曜



神田志乃多寿司

明治35年(1902年)創業。まろやかな甘みでコクの稲荷寿司と、じっくり煮込まれたかんぴょうを使ったのり巻が看板の味。1階は売店、地下に客席あり。



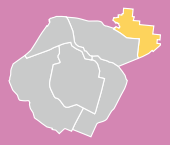
千代田区神田淡路町2-2　03-3255-2525
7:30～18:00(土曜、日曜、祝日～17:00)　休 火曜

神田ガード下

JR神田駅周辺はサラリーマンの街ですが、駅のガード下には大衆居酒屋や立ち飲み屋が集まり、懐かしい昭和の風情を残しています。

千代田区鍛冶町





世界有数の電気街&ポップカルチャーの聖地

秋葉原エリア



日本を代表する電気街。そして、アニメ、ゲーム、アイドルなどの関連商品を扱うショップや、メイド喫茶などが集まるポップカルチャーの聖地でもあります。時代と共に発展を続ける街・秋葉原の奥深い魅力を探しに出かけてみませんか。

交＝交番

おすすめ散歩コース

▶▶▶ 所要時間 約2時間

※各スポットの見学時間により、所要時間は変わります。

Start!!

JR・東京メトロ 秋葉原駅

約3分

1 2 秋葉原電気街

電化製品店が建ち並ぶ世界有数の電気街。複合施設が増え、飲食店も充実。

千代田区外神田

ポップカルチャー街

アニメ、ゲーム、アイドルなどの関連ショップやメイド喫茶が多数あります。

千代田区外神田



約3分

3 ジャンク通り

パソコンの中古パーツなどジャンク品を扱う店が並ぶ。ラーメン、牛丼などアキバ流ファストフード店も多い。

千代田区外神田3丁目



約7分

4 2k540 AKI-OKA ARTISAN

秋葉原駅～御徒町駅間の高架下に様々なアトリエ&ショップが集結。

P.55



約14分

5 神田明神

江戸時代から「江戸総鎮守」として親しまれている神田神社。神田祭は有名。

P.54



約4分

6 湯島聖堂

江戸時代には幕府直轄学校「昌平坂学問所」、明治時代には日本初の博物館、図書館、東京女子師範学校が置かれた、日本の近代教育発祥の地。

P.55



約10分

7 マーチエキュート神田万世橋

赤レンガアーチ造りの「旧万世橋駅」を利用した商業施設。

P.55



約1分

8 万世橋

江戸時代に架けられた筋違橋から始まり紆余曲折を経て現在の橋は関東大震災後に建造。



約7分

Goal!!

JR・東京メトロ 秋葉原駅



※ここで紹介している営業時間・料金等は2021年1月現在のものです。変更する場合がありますので、ご確認ください。



秋葉原電気街

昭和の高度経済成長期の家電ブームから、パソコン・マルチメディア時代、コンテンツ産業隆盛期と、時代に合わせて変化を遂げてきた秋葉原。そのたびに最先端の製品・技術情報が集まり、世界中から注目されています。

戦後の闇市から世界一の電気街へ 秋葉原ヒストリー

1 秋葉原の地名の由来は？

秋葉原という地名は明治時代に遡ります。秋葉原周辺は江戸時代から交通の要所でした。当時は火事が多く、明治2年(1869年)の大火事で焼け野原になったことを機に、火除け地として大きな原っぱを残し、鎮火の神様を祀る秋葉神社(現在は台東区に移転)を創建。以来、「あきばのはら」「あきばっぱら」と呼ばれるようになりました。

2 戦後闇市から電気街が誕生

明治23年(1890年)には、原っぱだった場所が鉄道貨物駅「秋葉原駅」に。鉄道、幹線道路が通る秋葉原は物流拠点となり、通信機器やラジオ部品を組み立てて販売する商いが繁盛します。第二次世界大戦で焼け野原になりますが、戦後すぐに電気商が集まり、露天の電気街が形成されます。これが高架下のラジオデパートになり、秋葉原電気街に発展していきます。

3 家電ブームを経て、世界有数の電気街へ



1968年(昭和43年)の秋葉原

日本の家電ブームは、1950～60年代の白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫の「三種の神器」に始まり、その後も様々な家電、オーディオ、ゲームが次々と登場し、秋葉原電気街も全盛期を迎えます。日本の家電製品は世界品質となり、外国人からの人気も高まります。1970年代後半にはマイコンショップが登場。中古品パーツを扱うジャンクショップも生まれました。

4 ポップカルチャーの聖地、Akibaへ！



ポップカルチャーの聖地に

1990年代になるとパソコン街へと変容し、マルチメディア最先端の街に。もともとPC部品を求めて秋葉原に通っていたオタクと呼ばれるパソコン愛好家がゲーム、アニメ、フィギュアと興味を広げ、コンテンツ産業中心の街へと発展。オタク文化がマニアのものから一般大衆化し、ポップカルチャーの発信地として世界に知られていくようになります。

アキバの達人におまかせ！ 秋葉原 案内所&ツアー

AKIBA_INFO

秋葉原や東京都の地図、周辺イベント情報を発信。秋葉原の最新情報を案内してくれるほか、地域限定フリーペーパーや秋葉原に関連したチラシ、冊子を配布。英語対応可。

- 千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 2F
- 11:00～17:30
- 休 月曜、年末年始
- http://www.akiba-information.jp/

秋葉原観光情報センター

日本政府観光局(JNTO)認定の外国人観光案内所。秋葉原のマップやショップフライヤーの配布、秋葉原ガイドツアーへの申し込み、Tickets Today 端末からの各種チケット購入などができます。FREE Wi-Fi 設置。

- 千代田区神田佐久間町1-13 チョムチョム秋葉原 1F THE AKIHABARA CONTAiNER 内
- 12:00～17:00　休 年末年始

Akiba Deep Travel

秋葉原周辺の観光案内会社。秋葉原の定番スポットからディープな場所まで知り尽くしたガイドが案内。「アキバ初体験ツアー」は1名6,000円～(2名から催行)。アキバ体験がお得にできるスマホチケット「Deepon」も販売中。

- 千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX4F LIFORK AKIHABARA
- 10:00～17:00　休 年末年始
- https://akiba.tours/



Akibaカルチャー

アニメやゲームのプラモデルやフィギュア、鉄道、PC パーツなど多種多様なホビーアイテムが集まる街・アキバ。アイドル文化の中心地であり、メイドカフェの激戦区でもあります。ユニークな体験型コンセプトカフェも人気です。

アイドル文化

2005年に誕生したアイドルグループ・AKB48の専用劇場であり本拠地である「AKB48劇場」。これを機に、秋葉原に本格的なアイドル文化が到来。アイドルブームの中心地として、様々なアイドルが活動する劇場やライブハウスがあります。アイドル育成カフェも人気。



フィギュア

模型やフィギュアを扱う店が秋葉原ラジオ会館に開業したことから、秋葉原にはフィギュアを扱うお店が多数できました。ビル全館が丸ごとフィギュアショップの大型店から、レアアイテムを扱うお店まで多種多様。フィギュア制作ができる工作室もあります。



写真提供／創造空間ナノラボ

メイドカフェ

今や秋葉原の代名詞となり、外国人にも人気のカフェ。メイドさんが給仕する際に「おいしくな～れ」とおまじないをしてくれたり、オムライスにケチャップでお絵描きをしてくれるなどが定番のサービスです。メイドさんによるライブが楽しめるお店もあります。



写真提供／
Akiba Deep Travel

コンセプトカフェ

メイドカフェのほかにも、様々なコンセプトカフェがあります。鉄道カフェにガンダムカフェ、忍者カフェなど、エンターテイメント性抜群で非日常を堪能できます。「鉄道居酒屋 LittleTGV」には、貴重な鉄道グッズや模型があり、大人から子どもまで楽しめます。



写真提供／
鉄道居酒屋 Little TGV

レンタルショーケース

ショーケース(小箱)を個人にレンタルし、不要になったコレクションを探している人に販売するシステムです。秋葉原に多数あり、アニメ、ゲームのプラモデルやフィギュア、ぬいぐるみ、ミニカー、アイドルグッズなどが出品され、アキバカルチャーの宝庫になっています。



写真協力／
ボークス秋葉原ホビー天国

コスプレ

漫画やアニメ、ゲームの登場人物やキャラクターに扮するコスプレ。秋葉原にはコスプレ衣装などを扱うショップ、コスプレイヤーのための撮影スタジオが多数あります。また、コスプレ体験できるスタジオもあり、衣装レンタルやメイクもしてくれるので手ぶらでOK。



写真提供／
秋葉原撮影スタジオ
studio BAHIR (スタジオ バヒル)





神田明神（神田神社）

江戸時代から“神田明神”と呼ばれ、「江戸総鎮守」として将軍様から庶民にいたるまで親しまれています。天平２年（730年）に現在の大手町将門塚周辺に創建され、元和２年（1616年）に江戸城の表鬼門守護地となる現在の地に遷座。江戸時代より続く「神田祭」は、「江戸三大祭り」の一つ。文化交流館「EDOCCO」では、土産物店、飲食店があるほか、伝統文化を体験できるイベントを開催。

千代田区外神田2-16-2　03-3254-0753

CHABARA AKI-OKA MARCHE

かつて神田青果市場（やっちゃ場）があった、秋葉原駅～御徒町駅間の高架下にある、日本の食文化施設。日本各地のおいしいものを選りすぐった「日本百貨店しょくひんかん」、珈琲豆を注文ごとに焙煎する「やなか珈琲店」、精進料理店「こまきしょくどう―鎌倉不識庵―」があります。



千代田区神田練塀町8-2
03-5334-1097
11:00～20:00
休 1/1、6月と11月の第１水曜

井政（遠藤家旧店舗・住宅主屋）

江戸時代より材木商を営んできた遠藤家が昭和２年に建てた店舗住宅。銘木をふんだんに使い、職人の技が極められた建物で、千代田区有形文化財です。江戸の暮らしを伝える遠藤家の調度品を展示するなど、季節のイベントを開催。カフェとしても利用できます。



千代田区外神田 2-16 宮本公園内
03-3255-3565
11:00～16:00
休 土日祝　年末年始、夏季臨時、休業あり（カフェ）月・不定休

秋葉原ガチャポン会館

約500台ものガチャポン（カプセルトイ自販機）を設置する専門店。レアなものから最新作まで揃い、コレクターも必見。毎月約50タイトルもの新作が入荷されるので、訪れるたびに新しいアイテムを見つけることができます。



千代田区外神田3-15-5
03-5209-6020
月～木曜 11:00～20:00、金・土曜・休前日 11:00～22:00、日曜・祝日 11:00～19:00

秋葉原ラジオ会館

JR秋葉原電気街口駅前にあるオーディオ・パソコン・フィギュアの聖地。電気パーツ、オーディオ、セキュリティといった電子機器、カード、フィギュア、ドール、プラモデルといったアキバカルチャーの店舗が入っています。



千代田区外神田1-15-16
03-5298-1570
10:00～20:00、B1F 12:00～22:00（日祝は 21：30）

中央通り

秋葉原のメインストリートである中央通り周辺は、電化製品の販売店が建ち並ぶ世界有数の電気街であり、世界の注目を集めるポップカルチャーの情報発信地でもあります。AKB劇場をはじめアニメ、ゲーム、アイドルなどの関連ショップや、メイド喫茶から発展したコンセプトカフェが多数集まります。

千代田区外神田





マーチエキュート神田万世橋

赤レンガアーチが美しい「旧万世橋駅高架橋」を利用した商業施設。施設内にはショップの仕切りがなく、アーチ状のトンネルを抜けると隣の店舗へとつながっており、嗜好性の高いショップやカフェが並びます。明治時代の階段、壁面、プラットホームなどの遺構が残り、大正時代の万世橋駅と周辺のにぎわいを再現したジオラマも見どころ。屋上の展望デッキ両側には線路が通っており、JR中央線を至近距離で見ることができます。

千代田区神田須田町1-25-4　03-3257-8910
ショップ 11:00～20:00、飲食店 11:00～23:00（日祝は～21:00）
休 不定休

湯島聖堂

江戸幕府五代将軍徳川綱吉が、儒学の振興のため元禄3年（1690年）に湯島に移した孔子廟。その後、隣に幕府直轄の「昌平坂学問所」が開設されました。



文京区湯島1-4-25　03-3251-4606
9:30～17:00（冬季～16:00）　¥ 無料
休 8/13～17、12/29～31は閉館

アーツ千代田3331

旧練成中学校を利用したアートセンター。ギャラリー、オフィス、カフェなどが入居し、展覧会やワークショップなど文化活動の拠点。誰でも利用できるフリースペースも。



千代田区外神田6-11-14　03-6803-2441
10:00～21:00　休 年末年始、お盆（8月中旬）

AKIBAカルチャーズZONE

アキバカルチャーの発信地。アニメキャラクターのフィギュア、同人誌などのショップ、鉄道模型店、声優劇場やアイドルカフェがあります。



千代田区外神田1-7-6
店舗により異なる。ホームページで確認を
http://akibaculturesone.com/

2k540 AKI-OKA ARTISAN

秋葉原駅～御徒町駅間の高架下にある「ものづくりの街」。帆布、家具、木製品、革製品、彫金、陶磁器、草木染めなど様々なアトリエ＆ショップが並びます。



台東区上野5-9　03-6806-0254
11:00～19:00 ※店舗により異なる
休 水曜　※店舗により異なる

アート・ミュージアム

国立の美術館、大学の博物館をはじめ、企業や個人のユニークな美術館・ギャラリーが多数。気軽にアートに触れられる、歴史をもっと知ることができるなど、知的好奇心を満たす場所が身近にあります。

東京国立近代美術館

日本で最初の国立美術館。13,000点を超える国内最大級の所蔵作品数を誇り、横山大観や菱田春草らの重要文化財を含みます。MOMATコレクションの会期中は、日本美術の歴史を一挙に鑑賞。〔→P.15〕

千代田区北の丸公園3-1　03-5777-8600（ハローダイヤル）
10:00～17:00（金・土曜日は～20:00）　※入館は閉館30分前まで
休 月曜（祝日の場合は開館、翌日休館）、展示替期間、年末年始
¥ 一般 500円、大学生 250円、高校生以下および 18歳未満・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添者1名は無料





出光美術館

実業家・出光佐三が創設した美術館。東洋古美術を中心とした収蔵品を、企画展を通して紹介。併設では世界有数のコレクションを誇るルオーの作品も。ロビーからは皇居周辺が一望できます。〔→P.21〕



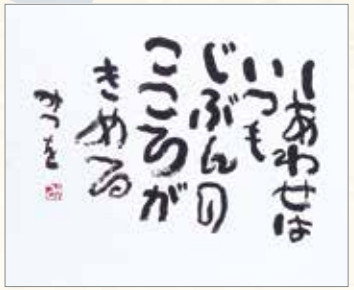
千代田区丸の内3-1-1帝劇ビル9F　03-5777-8600（ハローダイヤル）
10:00～17:00（金曜は～19:00）※入館は閉館30分前まで
休 月曜、年末年始、展示替期間
¥ 一般1200円、大学生・高校生800円、中学生以下無料（但し、保護者の同伴が必要）

相田みつを美術館

「にんげんだもの」のベストセラーで知られる、書家・詩人である相田みつをの美術館。自分の書・自分の言葉を追求し、独自の表現スタイルを創作。人気作品の展示のほか、企画展も開催。

千代田区丸の内3-5-1　東京国際フォーラム地下1F
03-6212-3200
10:00～17:30（入館は17:00まで）
休 月曜（祝日の場合は開館）
¥ 一般 800円、中学生・高校生 500円、小学生 200円
70歳以上の方 600 円





©相田みつを美術館

こちらもおすすめ！

皇室所蔵美術品の博物館
三の丸尚蔵館 〔→P.13〕

千代田区千代田1-1
03-5208-1063　¥ 無料
・ 3/ 1 ～ 4/14、10/ 1 ～10月末　9:00～16:15
・ 4/15～ 8月末、9/ 1 ～ 9月末　9:00～16:45
・11/ 1 ～ 2月末　9:00～15:45
※入館は閉館 15 分前まで
休 ・月・金曜（天皇誕生日以外の祝日は公開。月曜が祝日の場合は開館、翌火曜休園）・12/28～1/3 ・展示会準備期間

東京駅丸の内駅舎内の美術館
東京ステーション ギャラリー 〔→P.21〕

千代田区丸の内 1-9-1
03-3212-2485
10:00～18:00（金曜は～20:00）
入館は閉館30分前まで
休 月曜（祝日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始
¥ 有料（企画展により異なる）

国立劇場所蔵の伝統芸能資料
国立劇場 伝統芸能情報館 〔→P.29〕

千代田区隼町4-1
03-3265-7411
企画展示は、内容により異なる。
図書閲覧室 10:00～17:00
（第3水曜は20:00まで、第3水曜が祝日の場合、翌日の木曜が17:00まで）
休 土・日曜（第2日曜は開室）、祝日、月末整理日など

三菱一号館美術館

19世紀後半から20世紀前半の近代美術の企画展を年3回開催。赤煉瓦の建物は、明治27年（1894年）建設の「三菱一号館」を復元したもの。建物と同時代の西洋美術を中心に、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック、オディロン・ルドン作品等を収蔵。〔→ P.21〕

千代田区丸の内 2-6-2　03-5777-8600（ハローダイヤル）
10:00～18:00、（祝日・振替休日除く金曜、第2水曜、会期最終週平日は21:00まで。入館は閉館時間 30 分前まで。）
休 月曜（祝日・振替休日・会期最終週の場合は開館）、年末、1/1、展示替期間
¥ 展覧会により異なる







科学技術館

科学技術・産業技術の総合的博物館。展示は参加体験型のものが多く、見たり、触ったりして楽しみながら、科学技術に興味、関心を深められます。毎日数多くの実験ショーを開催しています。〔→P.14〕



千代田区北の丸公園2-1　03-3212-8544
9:30～16:50（入館は16:00まで）
休 水曜不定休（学校の長期休みや11～2月などは開園）、年末年始（12/28～1/3）
¥ 一般 880円、中学生・高校生 500円、子ども（4歳以上）400円

こちらもおすすめ！

国産カメラや世界の名機を展示
日本カメラ博物館 〔→P.29〕

千代田区一番町25 JCII一番町ビル
03-3263-7110　10:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
¥ 一般300円、中学生以下無料

約1億年前の魚類や恐竜化石
城西大学水田記念博物館 大石化石ギャラリー

千代田区平河町2-3-20
03-6238-1031
11:00～17:00
（土曜、祝日は11:30～12:30閉館）
休 日曜、祝日、展示準備期間、夏期、年末年始（臨時休館あり）
¥ 無料

戦中戦後の国民生活資料を展示
昭和館 〔→P.38〕

千代田区九段南1-6-1
03-3222-2577
10:00～17:30（最終入館 17:00）
休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始（1/28～1/4）
¥ 大人 300円、高校・大学生 150円、小・中学生無料、65 歳以上 270円

旧秋田藩主佐竹家の資料館
千秋文庫 〔→P.38〕

千代田区九段南 2-1-36
03-3261-0075
10:00～16:00
（入館は閉館30分前まで）
休 日・月曜、祝日
¥ 一般 450円、大学生・高校生 350円、小・中学生無料

国内外の拷問器具の実物も
明治大学博物館 〔→P.44〕

千代田区神田駿河台1-1
アカデミーコモン地階
03-3296-4448
10:00～17:00（最終入館 16:30）
休 8/10～16、12/26～1/7、8月は臨時休館あり
¥ 無料（特別展は有料の場合あり）

歴史的建造物

明治～昭和初期に建てられた洋館、
木造日本建築などの貴重な建物は、
一見の価値があります。



日比谷松本楼〔→P22〕

日比谷公園にある明治36年(1903年)創業のレストラン。当時流行のマンサード屋根の3階建洋館はおしゃれと評判に。現在の建物は再建されたもの。洋食グリルとフランス料理が楽しめます。

千代田区日比谷公園1-2　日比谷公園内
03-3503-1451
洋食ガーデンテラス11:00～21:00、
フレンチ11:00～22:00
休 無休

学士会館〔→P41・P46〕



学士会は、旧帝国大学出身者の同窓会のこと。現在の建物は、関東大震災の復興建築で、昭和3年(1928年)に竣工。玄関の半円大アーチ、窓のデザインに特徴があり、国の登録有形文化財に登録。

千代田区神田錦町3-28　03-3292-5936

カトリック神田教会〔→P44〕



東京の教会のなかで最も古い教会の一つで、明治7年(1874年)に創建。聖堂はフランス人神父が構想した昭和初期のもので、鉄筋コンクリート造りの三廊式。国の有形文化財に登録。

千代田区西神田1-1-12　03-3291-0861
見学時間10:00～16:00(儀式がある場合を除く)　休 月曜

丸石ビルディング〔→P49〕

昭和6年(1931年)竣工。霞が関ビルを設計した山下寿郎建築事務所設計のオフィスビル。2種類の異なる外壁が特徴で、1階外周のアーチ型の装飾や、随所に施された動植物のレリーフが見どころ。



千代田区鍛冶町1-10-4

井政(遠藤家旧店舗・住宅主屋)〔→P54〕

昭和2年(1927年)に建てられた店舗住宅。江戸時代から材木商を営んできた遠藤家が関東大震災後に建築。銘木をふんだんに使い、職人の技が凝縮した建物です。千代田区指定有形文化財。現在はカフェに。



千代田区外神田2-16 宮本公園内　03-3255-3565
11:00～16:00　休 土曜、日曜、祝日、年末年始
(夏季臨時休業あり)

神社

江戸城の周囲には、将軍家などの
庇護を受けた歴史ある神社が残っています。
伝統の祭りも人気です。



日枝神社(ひえじんじゃ)〔→P30〕

鎌倉時代初期に創祀。江戸三大祭の山王祭で有名です。隔年開催の神幸祭では、約300mの行列が練り歩く様は壮麗。

千代田区永田町2-10-5
03-3581-2471

神田明神(神田神社)〔→P54〕

天平2年(730年)に創建。江戸時代から"神田明神"と呼ばれ、「江戸総鎮守」として親しまれています。「神田祭」は、江戸三大祭の一つ。二年に一度の本祭りでは、神輿や曳き物の大行列が市中を練り歩きます。



千代田区外神田2-16-2
03-3254-0753

東京大神宮〔→P36〕



「東京のお伊勢さま」。伊勢神宮の遥拝殿として明治13年(1880年)に創建され、日本で初めて神前結婚式を行いました。結びの働きを司る造化の三神が祀られ、縁結びのご利益が。

千代田区富士見2-4-1
03-3262-3566
開門時間6:00～21:00

靖國神社〔→P38〕



明治天皇が明治2年(1869年)に建てた「招魂社」が始まり。明治12年(1879年)に「靖國神社」と改称され、幕末から先の大戦までの戦没者の霊を祀っています。

千代田区九段北3-1-1
03-3261-8326
6:00～18:00(11～2月は17:00まで)
休 無休

平河天満宮〔→P30〕



菅原道真を主神に、八幡宮と東照宮(徳川家康)を祀る神社。太田道灌が江戸城内の梅林坂上に勧請したのが始まりといわれ、慶長12年(1607年)に現在の地に。徳川家、井伊家などの祈願所。

千代田区平河町1-7-5
03-3264-3365

東京駅の見どころ

東京の玄関口・東京駅。
開業100年以上の歴史をもつ
重厚で美しい東京駅丸の内駅舎。
その東京駅構内で歴史をめぐる旅を
楽しんでみてはいかがでしょう。





東京駅構内の見どころ

大正３年（1914年）に開業した東京駅。近代建築の父・辰野金吾による設計で、赤レンガに白い石の帯を組み合わせ、屋根には塔やドームを載せているのが特徴です。平成24年（2012年）に創業当時の姿に復原された丸の内駅舎は、重要文化財に指定されています。



開業時のホームの支柱



東京駅の５・６番線にあたる、JR山手線、京浜東北線品川方面行きのホーム前方に、開業当時の支柱がそびえます。現在残っているのは、ここだけです。

0キロ標識



新幹線をはじめ東海道線、中央線、東北線などの起点はすべて東京駅。その位置を示すのが通称ゼロキロポスト。各ホームにあるので探してみては。

東京駅の石碑



東京駅と刻まれた石碑は人気ナンバー１の撮影スポット。この石碑を囲むように、皇族や国賓用の御車寄せがあります。丸の内中央口正面玄関前。

動輪の広場



丸の内地下南口改札外にある蒸気機関車の動輪のある広場。かつて東海道線を走っていたC62-15型蒸気機関車のもので、直径1.75mの動輪が3つ並んでいます。

画像提供：東京ステーションシティ運営協議会



南口ドームの見どころ

多くの人が行き交う丸の内南口ですが、頭上を見上げると、八角形のドーム天井には美しいレリーフが。創建当時のイギリス風の建築をそのままに復原されています。正面のアーチには、焼け残った創建当初のレリーフ（グレーの部分）が埋め込まれています。北口ドームにも同様の美しい天井があります。

８つの干支の彫刻



八角ドームの８つの角に干支の彫刻があります。その干支の方位に従って十二支のうち八支（丑・寅・辰・巳・未・申・戌・亥）の彫刻が配置されています。

鷲のレリーフ



ドームの八角コーナーには、創建時の意匠を復原した鷲の彫刻が８羽取り付けられています。両翼を広げた約2.1mの大鷲は細部にわたり躍動感にあふれています。

ここもおすすめ！

東京ステーションギャラリー



東京駅丸の内駅舎内にある美術館。2階にあるミュージアムショップ「TRAINIART」には鉄道グッズが並び、東京駅をデザインしたアイテムも多彩。

千代田区丸の内1-9-1 JR東京駅丸の内北口改札前　03-3212-2485
10:00～18:00（金曜は～20:00。入館は閉館30分前まで）
休 月曜（祝日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、展示替期間
¥ 有料（企画展により異なる）

GRANSTA（グランスタ）



おみやげ選びに便利な東京駅地下の大規模ショッピング街。できたての弁当・惣菜やこだわりのスイーツ、コスメ＆雑貨、カフェ＆レストランなど90ショップ以上。

千代田区丸の内 1-9-1 東京駅構内 B1F　03-6212-1740
月～土・連休中日の休日8:00～22:00、日曜・連休最終日は～21:00
休 無休

夜景スポット

東京のまん中の夜景は、まさに大都市ならでは。
歴史的建造物やビル街の街路樹が、時には温かく、時には華やかに
ライトアップされ、とてもロマンチックです。
ディナーの後、ドレスアップした街の散策に出かけましょう。



丸の内

丸の内イルミネーション

丸の内仲通りは、両側に街路樹が植えられた美しい通り。夜は、約 220 本の街路樹に約 120万球の LED がきらめくイルミネーションに彩られます。ディナーのあとの散策におすすめ。

千代田区丸の内 1～3丁目
11 月上旬～2 月中旬



皇居外苑

和田倉噴水公園

東京駅からほど近い皇居外苑の公園。夜は噴水がライトアップされて美しく浮かび上がり、幻想的な雰囲気に包まれます。デートスポットとしても人気。

千代田区皇居外苑 1-1　03-3213-0095



丸の内

屋上庭園「KITTE（キッテ） ガーデン」

JR東京駅前にある商業施設「KITTE」の 6 階。東京駅丸の内駅舎や駅前広場を一望できる丸の内エリアきってのビュースポットです。夜はライトアップされた駅舎を望むロマンチックな空間に。

千代田区丸の内 2-7-2　03-3216-2811
屋上庭園 11:00～23:00（日曜、祝日～22:00）
休 1月1日及び法定点検日　¥ 無料（荒天時閉鎖）



秋葉原

秋葉原の夜景

電気街・ポップカルチャー街として有名な秋葉原。夜になっても多くの買い物客で賑わい、カラフルなネオンが輝いています。

千代田区外神田



有楽町

東京国際フォーラム

大小多目的ホールを備えたコンベンション&アートセンター。建物は東京を代表するランドマークの一つで、東側の「ガラス棟」は、建物全体が照明のように光輝きます。

千代田区丸の内 3-5-1
03-5221-9000

ナイトスポット
Night Spot

眺望が素晴らしいホテルのラウンジバーをはじめ、
上質な音楽ライブ・レストランや東京が誇る名店も。
ゴージャスな空間で夜の東京を楽しんでみませんか。

名建築の面影を伝えるクラシカルなバー

オールドインペリアルバー

建築界の巨匠フランク・ロイド・ライトの設計による、帝国ホテル旧本館の面影を残すメインバー。世界の建築芸術の傑作といわれる意匠を伝える東京では唯一の場で、大谷石や壁のテラコッタが当時のまま残されています。ムーディーにライトアップされたクラシカルな雰囲気のなか、「マウントフジ」など個性が光る多彩なオリジナルカクテルを。

千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテル本館中 2 階
03-3539-8088 11:30～24:00(LO)
休 無休





ホテル最上階のバー。カクテルアワーが人気

Peter バー

ザ・ペニンシュラ東京の最上階である24階にあるバー。銀座や汐留方面の景色と調和したコンテンポラリーな空間が広がります。上質でモダンな雰囲気の中、シグネチャーカクテルや厳選された高級銘酒、希少なビンテージワインが楽しめます。カクテルアワー（日曜～木曜の 17～20 時）は、ビールやカクテルが 1 杯 1000円（税サ別）で楽しめるとあって大人気。

千代田区有楽町 1-8-1 ザ・ペニンシュラ東京 24F
03-6270-2763 12:00～24:00
(金土は～25:00)
休 無休

ガラスアートの圧倒的空間でカクテルを

Sky Gallery Lounge Levita

ザ・プリンスギャラリー東京 紀尾井町の 35 階にあるカクテルラウンジ・バー。2 フロア吹き抜けの「滝」をイメージしたガラスアートに囲まれた空間は、浮揚感漂う圧倒的なスケール。巨大なガラス窓からは、刻一刻と姿を変える都心の景色を楽しめます。カクテルの世界大会でトップ 8 に輝いた、プレミアムラム＝バカルディ8（TALES OF 8）のカクテルを。

千代田区紀尾井町 1-2
ザ・プリンスギャラリー東京 紀尾井町 35F
03-3234-1136 平日 12:00～26:00、
土日祝 11:00～26:00
休 無休




Performance by Nicole Henry
Photo by Y.Yoneda



大人の極上エンターテイメント！

COTTON CLUB

ニューヨークの伝説的ナイトクラブの名を冠したライブレストラン。シャンデリアや赤絨毯のムードあふれる空間で、フレンチやお酒を堪能しながら、迫力のステージを楽しめます。ジャズやソウル、ファンク、ラテン、ワールドミュージックなどを中心に、世界的に活躍するトップアーティストたちが連夜出演。豪華な音楽ライブが繰り広げられます。

千代田区丸の内 2-7-3 東京ビル TOKIA 2F
03-3215-1555 月～金 17:00～23:00、
土日祝 16:00～22:30
休 不定休

ノスタルジックな趣ある老舗居酒屋

みますや

神田で長年愛されてきた、明治38年（1905年）創業の老舗居酒屋。“どぜう”と書かれた提灯や風情ある縄のれんがかかる大衆酒場で、東京でも指折りの歴史を持つお店です。昭和の香りを色濃く残す店内には、テーブル席と小上がりの座敷、奥の個室があります。名物の柳川鍋（どじょう）のほか、さくらさしみ(馬肉)なども人気。夜は予約がおすすめ。

千代田区神田司町 2-15-2
03-3294-5433
月～金 11:30～13:30、17:00～22:30、
土曜 17:00～22：00
休 日曜、祝日、お盆、年末年始





世界に誇る名店のオリジナルカクテルを

STAR BAR

World's Best Bars にも選出されている、銀座の名店のフラッグシップ。酒棚を埋め尽くす希少な銘酒と、圧巻の長さ 12メートルカウンターで、シグネチャーカクテルや季節のフルーツカクテルを。希少なシングルモルトやラムも用意。あまりにも透明な忍者アイス、ダイヤモンドのように輝くブリリアントアイスなどバーテンダーの妙技を堪能したい。

千代田区有楽町 1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 3F
03-6206-1560
16:00～24:00
休 月曜、第 1 火曜



祭り・イベントカレンダー

古式ゆかしい伝統の祭りや下町風情あふれる行事から、最新テクノロジーを駆使した体験まで、時代を越えたさまざまなイベントが催されています。

1月1日～3日



初詣（区内各社寺）
正月は、初詣の参拝客で、区内の神社は賑わいます。



東京大神宮

2月3日



節分祭（神田明神、日枝神社、東京大神宮ほか）
冬の伝統行事で、豆まきなどが行われます。

3月下旬～4月上旬



千代田のさくらまつり（千鳥ヶ淵ほか）
千鳥ヶ淵緑道のさくらをライトアップします。

1月	1～3日	初詣（区内各社寺）
	1/2	新年一般参賀（皇居）
	1/2・1/3	箱根駅伝　スタート・ゴール（読売新聞社前）
	中 旬	神田明神だいこく祭（神田明神）
	下 旬	神田小川町雪だるまフェア（小川広場・神田神保町エリア）
2月	3 日	節分祭（神田明神、日枝神社、東京大神宮ほか）
	中 旬	ちよだ猫まつり（千代田区役所）
	17日	祈年祭（日枝神社、東京大神宮ほか）
3月	3月上旬	雛まつりの祓（東京大神宮）
	下旬～4月上旬	千代田のさくらまつり（千鳥ヶ淵ほか）
4月	下 旬	JAZZ AUDITORIA in WATERRAS（ワテラス）

※ イベントは都合により変更になる場合があります。

5月上旬



ラ・フォル・ジュルネ TOKYO
国内外のアーティストが集うクラシック音楽祭。一流の演奏を気軽に楽しめます。
©teamMiura

6月7日～17日



中 旬



神田祭（神田明神周辺）
神田明神の例大祭。本祭は西暦奇数年に開催され、多数の神輿宮入が最大の見せ場。



山王祭（日枝神社周辺）
300mもの御列が街を行き優雅な王朝絵巻を繰り広げます。西暦偶数年に開催されます。

5月	上 旬	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO（東京国際フォーラムほか）
	11 日	神田明神薪能（神田明神）
	中 旬	神田祭（神田明神周辺）本祭は隔年
	下 旬	本の街神田 すずらんまつり（神田神保町） 岩本町・東神田ファミリーバザール（岩本町、東神田）5月、11月 2回開催
6月	上 旬	楽器の日ライブ（お茶の水サンクレールほか）
	中 旬	山王祭（日枝神社周辺）本祭は隔年 納涼大会（日枝神社）

千代田区の魅力を発見する『東京大回廊写真コンテスト』で受賞した方の写真を使用しています。

P.7掲載/和田倉噴水公園



第2回東京大回廊写真コンテスト
『魅涼』蓮見 幸徳　佳作受賞

P.8掲載/国会議事堂とイチョウ



第3回東京大回廊写真コンテスト
『未来を託す道』望月 和夫　東京ガーデンテラス紀尾井町賞

P.11掲載/散歩コース⑦北の丸公園



第2回東京大回廊写真コンテスト
『小春日より』久保 勝　佳作受賞

7月13日～16日



みたままつり（靖國神社）
戦没者のみたまを慰霊。大小3万もの献灯が夜を彩る夏の風物詩。

10月下旬～11月上旬



東京名物・神田古本まつり（神田神保町古書店街）
「青空古本市」など書物に関する多彩なイベント。

8月下旬



丸の内音頭大盆踊り大会（日比谷公園）
日比谷公園大噴水を輪で囲み「丸の内音頭」を踊ります。数万人が来場。

7月

- 上旬　神田・秋田湯沢七夕絵どうろうまつり（神田駅西口商店街）　隔年の開催
  七夕祭（神田明神、平河天満宮ほか）/ 祈願祭（東京大神宮）
- 13～16日　みたままつり（靖國神社）
- 下旬　納涼の夕べ（区営千鳥ヶ淵ボート場）
- 下旬～8月上旬　大手町・丸の内・有楽町　夏祭り（大手町、丸の内、有楽町）

8月

- 上旬　納涼盆踊り大会（東京大神宮）
- 中旬　神田明神納涼祭り（神田明神）/ 丸の内キッズジャンボリー（東京国際フォーラム）
- 8月下旬　丸の内音頭大盆踊り大会（日比谷公園）
- 下旬～11月末　神田カレー街食べ歩きスタンプラリー（神田神保町周辺）

9月

- 上旬　神田技芸祭（神田・出世不動通り）
- 上旬～下旬　アートアワードトーキョー丸の内（丸の内・行幸地下ギャラリーほか）
- 下旬　秋の夜長の御神楽（靖國神社）
  中秋管絃祭（日枝神社）
- 25日　10円カレーチャリティ（日比谷公園・日比谷松本楼本店）

10月上旬



お茶の水JAZZ祭（明治大学アカデミーホール）
音楽を通した町起こしの地域イベント。
JAZZライブを多数開催。

11月中旬～12月下旬



WHITE（ホワイト） KITTE（キッテ）（KITTE）
クリスマス恒例のイルミネーション。

11月上旬



神田カレーグランプリ グランプリ決定戦（小川広場）
カレーグランプリのメインイベント。その年のベストカレーが選ばれます。

10月

- 上旬　お茶の水アートピクニック（JR 御茶ノ水駅周辺）
  東京味わいフェスタ（東京都主催）/ 鉄道フェスティバル（日比谷公園）
  お茶の水JAZZ祭（明治大学アカデミーホール）
- 中旬～11月中旬　千代田区文化芸術の秋フェスティバル
- 下旬　日比谷公園ガーデニングショー（日比谷公園）
- 下旬～11月上旬　東京名物・神田古本まつり（神田神保町古書店街）
  神保町ブックフェスティバル（神田すずらん通り、さくら通りほか）
  神田スポーツ祭り

11月

- 初め～下旬　東京都観光菊花大会（日比谷公園）
- 上旬　お茶の水熱烈楽器祭（サンクレールお茶の水駅前広場）
  神田カレーグランプリ決定戦（小川広場）
- 中旬～12月下旬　WHITE KITTE（KITTE）
- 中旬～2月下旬　区内イルミネーション

12月

- 下旬～1月上旬　皇居二重橋等のライトアップ（皇居周辺）
- 下旬　東京ミチテラス（丸の内周辺）

※ イベントは都合により変更になる場合があります。

千代田アクセスマップ

成田・羽田空港、近隣主要駅から東京駅までのアクセス



路線

- JR山手線
- JR京浜東北線
- JR中央線
- JR総武線
- JR成田エクスプレス
- 京成スカイライナー
- 東京モノレール
- 京浜急行

成田空港から

成田エクスプレス利用で約60分、または総武線快速東京方面行き利用で約90分。
リムジンバス（東京駅・日本橋地区行）利用で約80分～110分

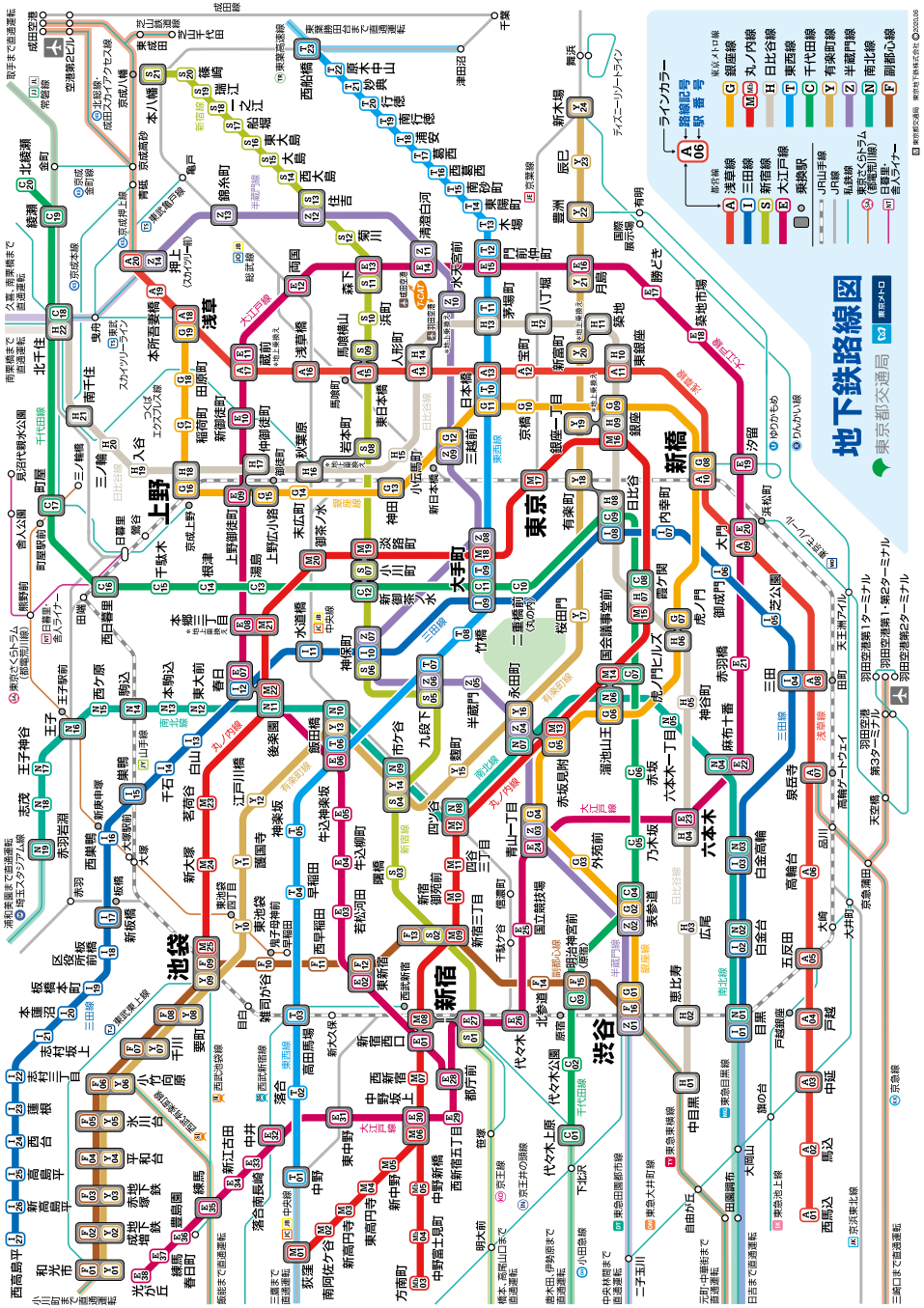
羽田空港から

東京モノレール利用、浜松町乗換え京浜東北線または山手線利用で約35分
リムジンバス（東京駅八重洲南口行）利用で約40分

高速道路を利用

都心環状線 八重洲出口、神田橋出口、宝町出口利用

※2021年1月現在



東京地下鉄(株)承認（承認番号　第20-A033号）

千代田区観光協会

WEBは
こちらから
アクセス！

千代田区観光協会
CHIYODA CITY TOURISM

住所：東京都千代田区九段南1-6-17
電話：03-3556-0391　E-mail：info@kanko-chiyoda.jp
FAX：03-3556-0392　ホームページ：https://visit-chiyoda.tokyo/

発行：一般社団法人 千代田区観光協会　総合企画：株式会社JTB　佐川印刷株式会社
編集：編集工房 春屋　デザイン：株式会社ZUGA　印刷：佐川印刷株式会社
※全ての著作物の無断複写・転載を禁ず